FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

BIG JOB DS-270HD

ビッグ ジョブ

SUPER CCD HONEYCOM



使 用 説 明 書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。この説明書には、フジフイルムデジタルカメラDS-270HDの使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本製品の関連情報はホームページをご覧ください。 http://www.fujifilm.co.jp/ または http://www.finepix.com/

BL00122-100(1) J

目　次

1
2
3
4
5
6

はじめに

▶ご使用の前に必ず、「使用上のご注意（➡90ページ）」と別冊の「安全上のご注意」をお読みください。

■撮影の前には試し撮りを

必ず事前に正常に動作するか、各防水カバーが確実に閉まるかどうか確認してください。

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

＊本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

＊万一本製品の取り扱いの不注意により水もれ事故を起こした場合、本製品の損傷および画像ファイルや撮影に要した諸費用などの保証はご容赦ください。

■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカード（スマートメディア）の転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分に注意してください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- **皮膚に付着した場合：**
  付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- **目に入った場合：**
  きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- **飲み込んだ場合：**
  水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本カメラは、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本カメラは、家庭環境で使用することを目的としていますが、本カメラがラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。
  使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因となることがあります。

■防水についてのご注意

本機はJIS 保護等級7級の対応をしていますが、水中防水仕様ではないため水中撮影はできません。水中に沈めておくことや、高い水圧での水洗いは避けてください。

■製品の取り扱いについて

本製品は、精密な電子部品で構成されておりますので、画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■商標について

- iMac、Macintoshは、Apple Computer, Inc.の登録商標です。
- Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- SmartMediaは株式会社 東芝の商標です。
- その他の社名と商品名は各社の商標または登録商標です。

防水についてのご注意

■本機は水中ではお使いになれません

- 水中撮影はできません。機器の水洗い、雨中での撮影は可能です。
- 水中に沈めておくことや、高い水圧での水洗いは避けてください。
- 雨中撮影や水洗いしたあとに、レンズ部と底面の三脚用ねじ穴やグリップ周辺から水がしみ出てくる場合がありますが、この部分は2重構造となっているため心配はありません。

■本機の水洗いの方法

1. 防水カバー（電池カバー・端子カバー）が閉まっていることを確認してください。
2. バケツなどにためた水道水で洗い、砂や塩分を落としてください（塩分がついていると、金属部分が錆びることがあります）。このとき、水道の蛇口から出る水を直接かけて洗わないでください。洗剤、入浴剤の入った水は使用しないでください。
3. 乾いた柔らかい布で水分を十分にふきとってください。

■本機の内部に水滴が入った場合の対処法

1. 本機の電源を切ります。
2. 電池とスマートメディアを取り出して、電池カバー・端子カバーを開けたままにしてください。
   決してそのままで使用しないで、お買上げ店またはお近くの弊社サービスステーションにご相談ください。

■カバーを開閉するときのご注意

- 海水や砂が入ることがあるため、浜辺、海上や砂地では本機の開閉はできるだけ避けてください。
- 本機についた水滴や異物（砂やゴミ、頭髪など）が本機内部に入らないように、これらを確実に除去してください。
- 軍手をしたままで開閉しないでください。
- 本製品は気密性が高いため、気圧が変化するとカバーが開けにくくなることがあります。
- カバーを開けたときに、水滴が内部につく場合があります。この場合は、きれいにふきとってからご使用ください。

■結露（つゆつき）にご注意

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機外部やレンズ部などに水滴がつくこと（結露）があります。また逆に、暖かいところから急に寒いところに持ち込んだときなどに、本機内部やレンズ部に水滴がつくことがあります。温度差がある場所を行き来した結果、結露した場合は電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、スマートメディアに水滴がつくことがあります。このようなときはスマートメディアを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■その他のご注意

- モードレバーは防水構造のため長時間放置しておくと、動作が重くなることがあります。数回動作させると通常の重さに戻ります。

防水パッキンについて

本機の防水性能は、防水パッキンとその接触面で保たれています。これらの部分をぶつけたり、異物をはさみこんだりして傷をつけないようにしてください。

＊防水パッキンは取り外さないでください

浸水の原因となります。異物が付着している場合はふきとってください。ふきとるときは、繊維質のものが残らないようにしてください（指、ゴム手袋などでふくことをおすすめします）。異物がとれないときは、新しいものとの交換を、お買上げ店またはお近くの弊社サービスステーションに依頼してください。防水パッキンの交換時期の目安については104ページをご参照ください。

カメラの特長 / 付属品

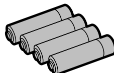
カメラの特長

- ●短い起動時間、撮影間隔で軽快な操作感
- ●新開発スーパーCCDハニカム搭載
- ●高感度ISO 200と内蔵オートストロボにより撮影領域を拡大
- ●なめらかな(多段階)デジタルズーム機能(1280×960ピクセル時1.88倍)/再生ズーム機能(最大15倍)
- ●スーパーEBCフジノンレンズ使用
- ●マクロ撮影機能付きオートフォーカス
- ●撮影条件の設定が可能なマニュアル撮影モード
- ●バランスの良い構図での撮影ができるベストフレーミング機能(オート撮影のみ)
- ●動画(ムービー)撮影可能(320×240ピクセル、音声なし)
- ●水洗い防水形(JIS保護等級7級)で水洗い、雨中の撮影が可能(水中撮影不可)
- ●外部ストロボをアクセサリーシューに取り付け可能
- ●工事現場写真に便利なワイドレンズ(35mm換算28mm相当)
- ●小型ストロボながら約5mの撮影が可能
- ●1.8型11万画素カラー液晶
- ●USB接続端子により簡単・高速にパソコンへ画像ファイル転送が可能
- ●簡単プリントを実現するDPOF(Digital Print Order Format)対応
- ●デジタルカメラの業界統一規格DCF*準拠

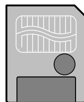
＊ DCFは電子情報技術産業協会(JEITA)で制定された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

付属品

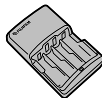
●単3形ニッケル水素電池 HR-AA
(4本　スペア2本含む)



●スマートメディア16MB、3.3V(1枚)
- **付属品:静電気防止ケース(1個)**
  インデックスラベル(1組)



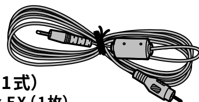
●バッテリーチャージャー FNW(1個)
(取扱説明書付き)



●ストラップ(1本)



●ビデオケーブル
ミニミニ(φ2.5mm)プラグー
ピンプラグ約1.5m(1本)

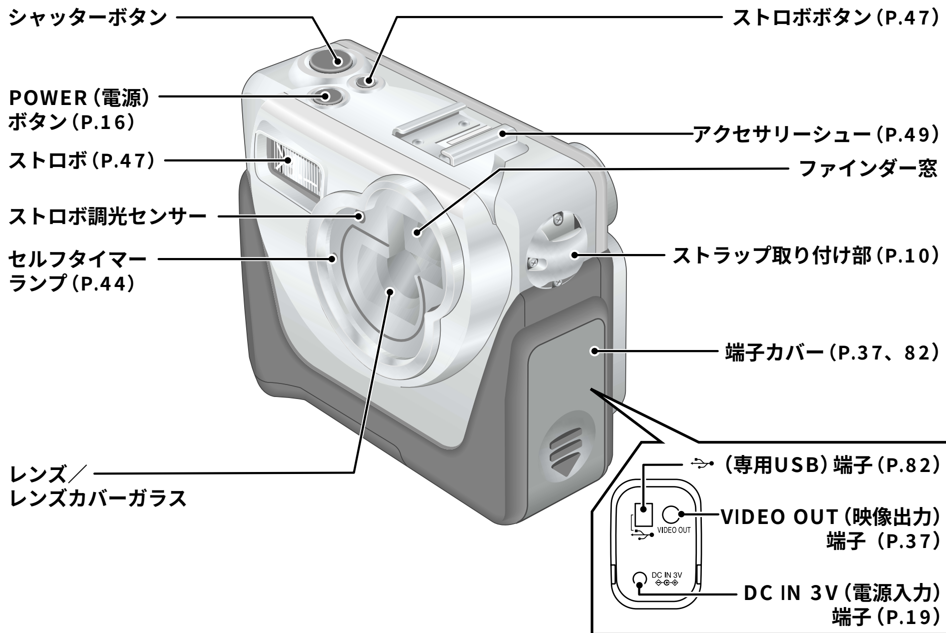


●USBインターフェースセット(1式)
- **CD-ROM:Software for FinePix EX(1枚)**
- **専用USBケーブル(1本)**
- **ソフトウェア取扱ガイド(1部)**

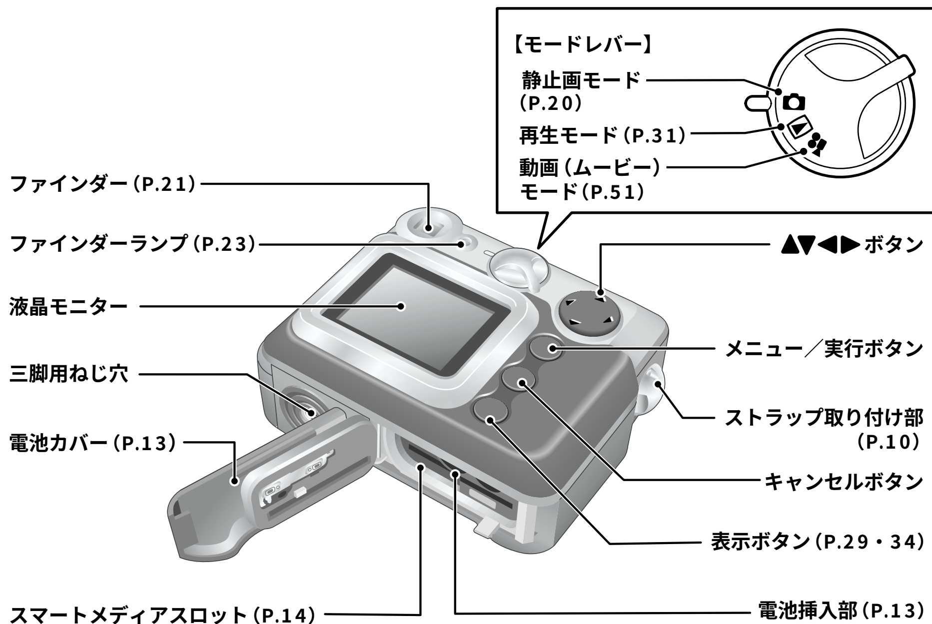
●使用説明書(本書1部)
●安全上のご注意(1部)
●保証書(1部)

各部の名称

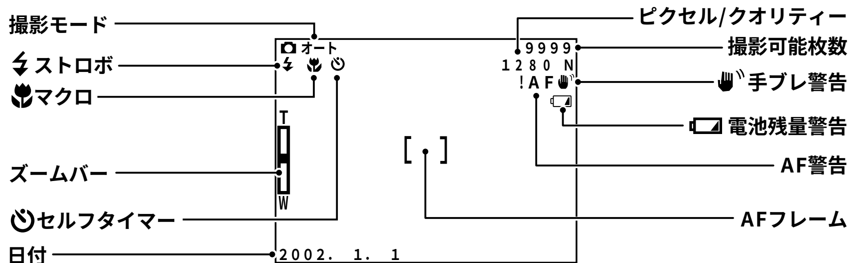
＊（　）内のページに操作の説明があります。



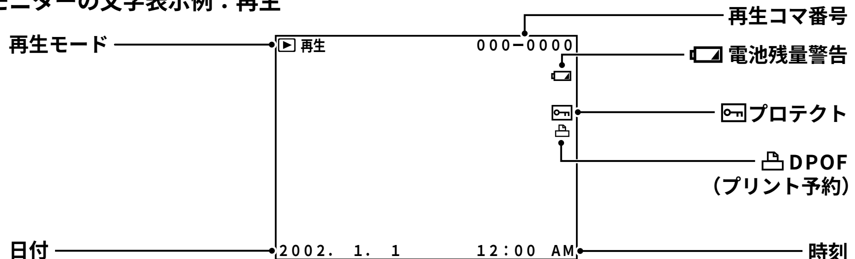
各部の名称


【モードレバー】
静止画モード（P.20）
再生モード（P.31）
動画（ムービー）モード（P.51）
ファインダー（P.21）
ファインダーランプ（P.23）
液晶モニター
三脚用ねじ穴
電池カバー（P.13）
スマートメディアスロット（P.14）
▲▼◀▶ ボタン
メニュー／実行ボタン
ストラップ取り付け部（P.10）
キャンセルボタン
表示ボタン（P.29・34）
電池挿入部（P.13）

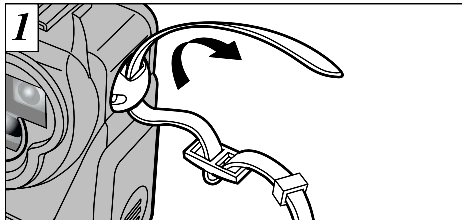
液晶モニターの文字表示例：静止画



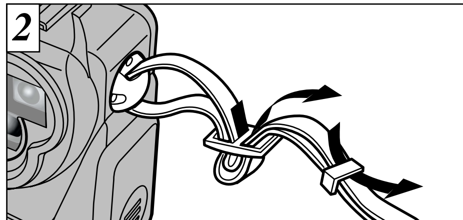
液晶モニターの文字表示例：再生



ストラップを取り付けます



ストラップを、ストラップ取り付け部に通して、取り付けます。反対側も同じように取り付けてください。



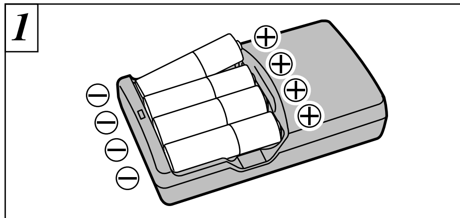
ストラップ取り付け後は、ストラップが外れないことを十分にご確認ください。

ストラップの取り付けかたを間違えると、カメラが落下する場合があります。

電池を充電します

充電できる電池

単3形ニッケル水素電池 HR-AA
充電器の詳しい使い方は充電器に付属している取扱説明書をお読みください。

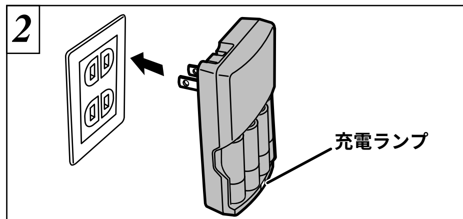


バッテリーチャージャー/充電器（FNW）に充電式電池を、表示に従って正しくセットします。
カメラにセットする電池は2本です。
バッテリーチャージャーは同時に2本または4本の電池が充電できます。

1

- 必ず指定の単3形ニッケル水素電池（弊社製）をご使用ください。指定外の電池（マンガン乾電池・アルカリ乾電池・リチウム電池）を充電すると、電池の破裂・液もれにより、火災・けがの原因になったり、周囲を汚損する恐れがあります。
  ＊電池作動可能枚数については103ページをご参照ください。
- ニッケル水素電池は電極に汚れがあると充電できない場合があります。念のため充電前に電池の電極、充電器の端子を乾いたきれいな布などで清掃することをおすすめします（特に初めて充電されるときには電極と端子を清掃したあと、充電器への電池の脱着を数回繰り返した上で充電を開始することをおすすめします）。
- 新しい電池と使用した電池を、混ぜて充電しないでください。

電池を充電します



充電器を電源コンセントに差し込み充電します。充電が完了すると、充電ランプが消灯します。使用しないときはコンセントから抜いてください。

- 工場出荷時に同梱のニッケル水素電池はフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。お買上げ時や長い間使用していなかった電池は、十分に充電されないこと（電池残量警告がすぐに表示されて、電池作動可能枚数/時間が少ない場合）があります。これは電池の特性によるもので故障ではありません。充電して最後まで使いきることを3〜4回繰り返すと十分に充電できるようになり、電池作動可能時間が長くなります。
- ニッケル水素電池の容量が残っている状態で充電を繰り返すと「メモリー効果」* が発生して早めに電池残量警告が出ることがあります。最後まで使いきってから充電することで正常な状態に戻ります。
  ＊メモリー効果：電池の容量が見かけ上低下したような特性を示す現象
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると、電池作動時間が極端に短くなることがあります。
- 電池についてのご注意は91〜93ページをご参照ください。

電池を入れます

使用する電池

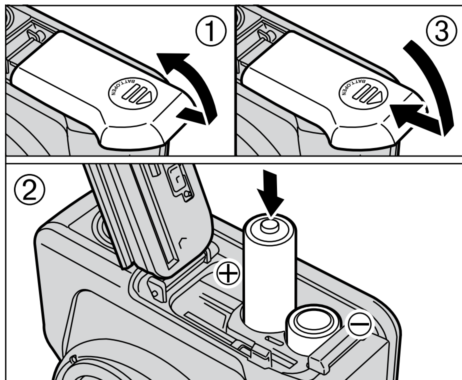
単3形ニッケル水素電池 HR-AA：2本

- 撮影の際は予備として、充電済みのニッケル水素電池のご用意をおすすめします。
- 種類の違う電池や、新しい電池と使用した電池を混ぜて使用しないでください。
- リチウム電池やマンガン乾電池、ニカド電池は使用しないでください。

◆アルカリ乾電池について◆

アルカリ乾電池は緊急用としてのみお使いください。お使いになる場合には、次の点にご注意ください。

- 電池の電極をきれいな布などで清掃することをおすすめします。
- 必ず液晶モニターをOFFにして(➡21、77ページ)からご使用ください。マクロ撮影やデジタルズーム撮影、動画(ムービー)撮影では使用できません。
- 同梱の単3形ニッケル水素電池と比べると電池作動可能枚数/時間は大幅に減少します。電池のメーカーや温度環境により電池作動可能枚数/時間は変わり、＋5℃以下では撮影できないことがあります。
- 液晶モニターOFFで使用するため、電池残量警告が表示されずに電源が切れます。



①電池カバーをスライドさせて開けます。
②電池を表示に従って正しく入れます。
③電池カバーを閉めます。

- 電池カバーに無理な力を加えないでください。
- 電池カバーを開閉するときは、電池を落とさないように注意してください。
- 電池の被覆が傷ついたり破けている場合は、使用しないでください。
- 電池カバーがぬれている場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

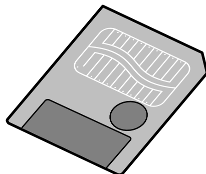
1

スマートメディア™を入れます

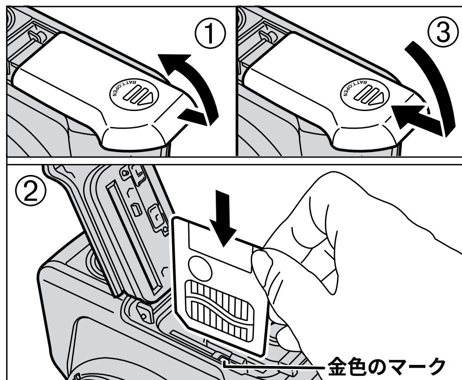
スマートメディア™（別売）

スマートメディアは必ず3.3V仕様をお使いください。

- MG-4SB(4MB)
- MG-8SB(8MB)
- MG-16SB(16MB)
- MG-32SB(32MB)
- MG-16SW(16MB:ID付き)
- MG-32SW(32MB:ID付き)
- MG-64SW(64MB:ID付き)
- MG-128SW(128MB:ID付き)



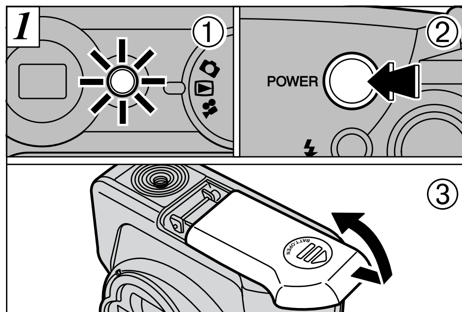
- ライトプロテクトシールがはられていると、記録、消去ができません(➡65ページ)。
- 本カメラでの動作保証は弊社製スマートメディアのみとなります。
- 3.3V仕様品の中には「3V」または「ID」という表示のものがあります。
- スマートメディアについてのご注意は94、95ページをご参照ください。
- 本製品は気密性が高いため、気圧が変化するとカバーが開けにくくなることがあります。



①電源が切れていることを確認します。電池カバーを上面にし、スライドさせて開けます。
②スマートメディアスロットの金色のマークとスマートメディアの金色の端子面の向きを合わせて確実に奥まで差し込みます。
③電池カバーを閉めます。

- 電源が入った状態で電池カバーを開けると、スマートメディア情報保護のため電源が切れます。
- スマートメディアの向きが間違っていると奥まで入りません。また、無理な力を加えないでください。

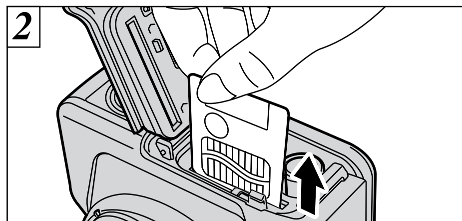
スマートメディア™の交換のしかた



①ファインダーランプが緑色に点灯していることを確認します(➡24ページ)。
②電源を切ります。
③必ず電池カバーを上面にして、スライドさせて開きます。

電源のON/OFFについては16ページをご参照ください。

電池カバーは、絶対に電源を入れたまま開けないでください。スマートメディア、または画像ファイルが破壊されることがあります。



電池を落とさないように気をつけて、スマートメディアをつまんで取り出します。

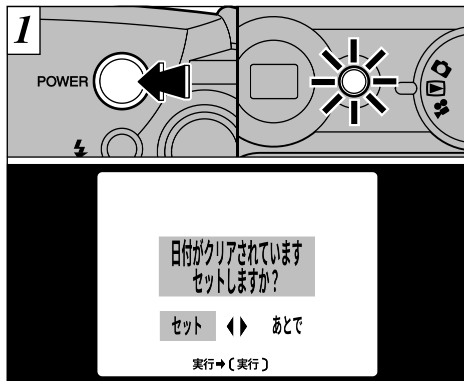
電池カバーの防水パッキンやその周りに水滴や異物(砂やゴミ、頭髪など)が付着していると防水効果が損なわれる場合があります。水滴や異物を乾いた柔らかい布等で取り除いてから電池カバーを閉めてください。

スマートメディアを保管するときは、必ず専用の静電気防止ケースに入れてください。

◆画像のプリントとパソコンへの取り込みについて◆

- プリントするときは、66、86ページをご参照ください。
- パソコンに画像を取り込むには、81〜85ページをご参照ください。

電源のON/OFF



電源をON/OFFするには、POWER(電源)ボタンを押します。電源を入れるとファインダーランプ(緑)が点灯します。日付がクリアされている場合は、確認画面が表示されます。

“セット”:日付設定画面になります(➡18ページ)。

“あとで”:静止画、動画(ムービー)または再生モードになります。

❗日付を設定しないと電源を入れるたびに確認画面が表示されます。



電源を入れ電池容量表示を確認します。

①電池の容量は十分です(表示なし)。

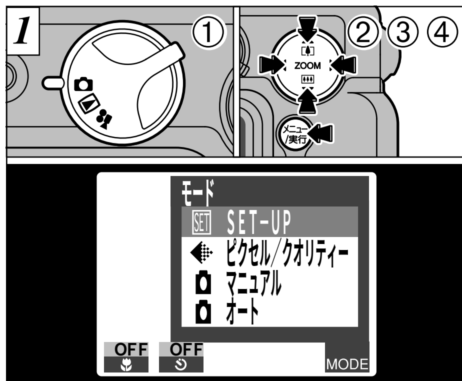
②電池の容量が不足しています。まもなく電源が切れますので、充電済みの電池と交換をおすすめします。

③電池の容量がありません。ただちに表示が消えて動作を終了します。充電済みの電池と交換してください。

◆オートパワーオフ機能◆

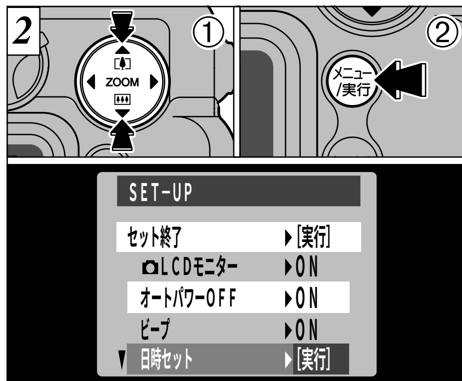
電源を入れたまま約2分間放置すると、自動的に電源が切れる機能です(➡77、89ページ)。ただしUSB接続時はオートパワーオフしません。

日時を合わせます



①モードレバーを“ ”(静止画)に合わせます。
②“ メニュー/実行 ”ボタンを押して液晶モニターにメニューを表示します。
③“ ◀▶ ”で“ MODE ”を選択し、“ ▲▼ ”で“ SET−UP ”を選択します。
④“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

日付がクリアされていて“ セット ”を選んだ場合は、3から操作します(➡18ページ)。

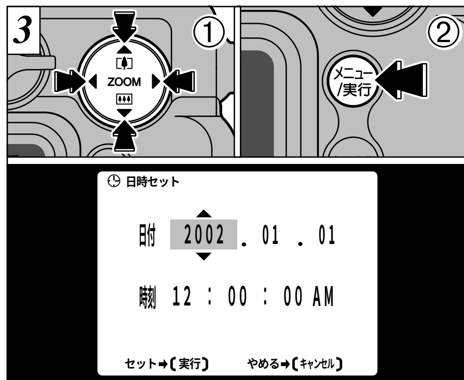


①“ ▲▼ ”で“ 日時セット ”を選択します。
②“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

“ SET−UP ”(セットアップ)のメニューについて、詳しくは77ページをご参照ください。

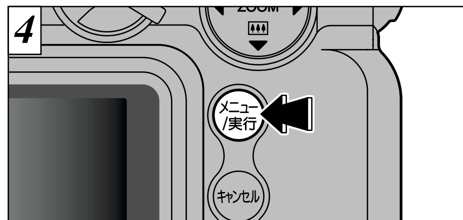
設定した日時は、ACパワーアダプターを接続または電池を入れて約半日以上経過していれば、カメラから両方とも取り外しても、約半日保持されます。

1



①“ ◀▶ ”で合わせたい項目（年・月・日・時・分）を選び、“ ▲▼ ”で修正します。
②修正後、“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと、“ SET−UP ”画面に戻ります。

- “ ▲ ”または“ ▼ ”を押し続けると数字が連続して変わります。
- 時刻表示で“ 12:00:00 ”を越えると、自動的にAM/PMが切り換わります。
- 秒は設定できませんが、時報に正確に合わせるにはゼロ秒時に“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。



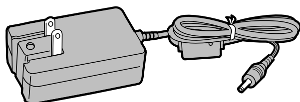
設定を終了するには“ ▲▼ ”で“ セット終了 ”を選択し、“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。
セットした年月日が液晶モニターの左下に約2秒間表示されます。

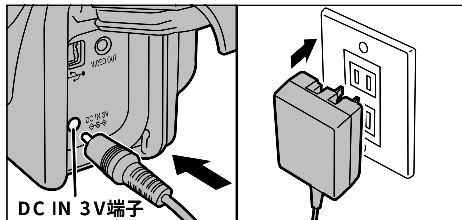
日付がクリアされていて“ セット ”を選んだ場合、“ SET−UP ”画面に戻らず静止画モード、動画（ムービー）モードまたは再生モードになります。

別売のACパワーアダプターを使う

ACパワーアダプター（別売）

必ず、弊社製「ACパワーアダプター AC-3V」をお使いください（➡87ページ）。
ファイル転送中（USB接続）など、電源が切れては困るときに使用します。また、電池の消耗を気にせず撮影・再生することができます。



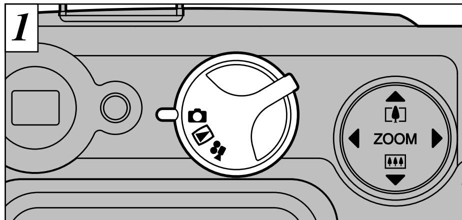


カメラの電源が切れていることを確認します。ACパワーアダプターの接続プラグを“DC IN 3V”端子に差し込み、次に電源コンセントに差し込みます。

- ACパワーアダプターについてのご注意は93ページをご参照ください。
- ACパワーアダプターの接続および取り外しは、カメラの電源が切れているときに行ってください。
  ACパワーアダプターをカメラに接続したときカメラの電源が一時的に切れるため、撮影中の静止画、動画は記録されません。また、スマートメディアの破損やパソコン接続時誤動作の原因になります。

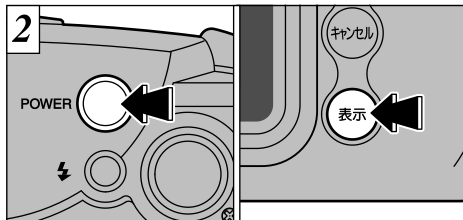
ACパワーアダプターを接続しても、ニッケル水素電池の充電はできません。ニッケル水素電池の充電には付属の充電器（➡6ページ）か、別売の充電器（➡87ページ）が必要です。

静止画モード  撮影してみましょう(オート撮影)



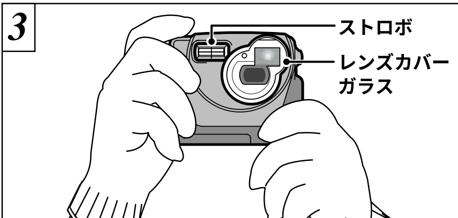
充電済みの単3型ニッケル水素電池とスマートメディアをカメラに入れてください。
モードレバーを“ 📷 ”(静止画) に合わせます。

●撮影可能距離：約50cm〜無限遠

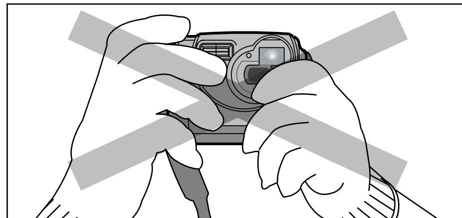


POWER(電源)ボタンを押して、電源を入れます。ファインダー撮影(マクロ撮影を除く)では、“ 表示 ”ボタンを押して、液晶モニターをOFFにします。

“ CARD ERROR ” “ CARD NOT INITIALIZED ” “ WRITE ERROR ”が表示された場合は、まずスマートメディアの接触面(金色の部分)を乾いた柔らかい布などでよくふいてから、再度セットしてください。



両脇を締め、両手でカメラを構えます。
レンズカバーガラスやストロボに、指やストラップがかからないようにしてください。特に手袋などをしているときはご注意ください。



指やストラップがかかると、適正な明るさ（露出）で撮影ができないことがあります。

2

❗約50cmより近づいた場合にはマクロを設定してください（➡42ページ）。

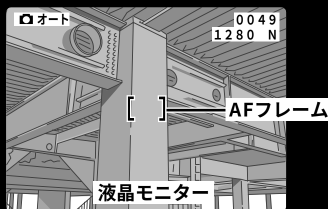
❗消費電力を抑えるにはファインダー撮影（“表示”ボタンを3回押して液晶モニターOFF）をおすすめします。

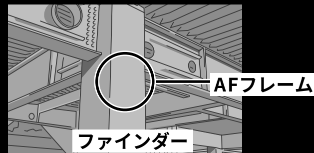
❗撮影するときカメラが動くと、画像がブレる原因になります。特に、暗い場所で撮影する場合は手ブレ防止のためストロボ撮影（➡47、48ページ）を行うか、三脚の使用をおすすめします。

❗レンズカバーガラスが汚れていないか確認してください。汚れている場合は90ページを参照してレンズカバーガラスをきれいにしてください。

塵や埃の多い環境でストロボ撮影を行った際に、ストロボの反射で白点が発生することがあります。

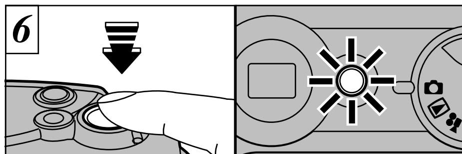
撮影してみましょう（オート撮影）

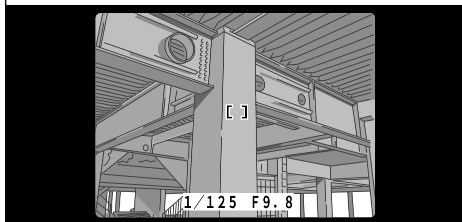




液晶モニターまたはファインダーを使って、被写体がAF（オートフォーカス）フレーム全体を満たすようにねらいます。

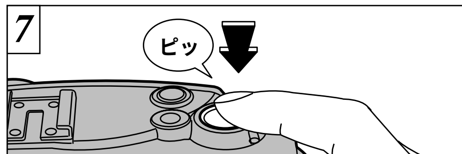
- 被写体がAFフレームから外れてしまう場合は、被写体にAF（オートフォーカス）でピントが合いません。AF/AEロック撮影を行ってください（➡26ページ）。
- 逆光で撮影するとフレアー、ゴーストが発生することがあります（➡89ページ）。
- 撮影範囲を正確に合わせたい場合は、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。
- 明るい屋外や薄暗いシーンなどでは、液晶モニターで被写体が確認しにくいことがあります。その場合、ファインダーの使用をおすすめします。





シャッターボタンを半押しします。液晶モニターのAFフレームが小さくなり、ファインダーランプ［緑］が点滅から点灯に変われば、ピント合わせは完了です。

- シャッターボタンを半押しすると一時的に液晶モニターの映像が止まりますが、記録される画像とは異なります。
- 暗くてピントが合わない場合は、被写体から1.5m程度離れて撮影してください。



半押しのままさらにシャッターボタンを押し込むと（全押し）、"ピッ"と音が鳴り撮影されます。続いて画像が記録されます。

- シャッターボタンを押してから、一瞬遅れて撮影されます。
- シャッターボタンをいっきに全押しするとAFフレームは変化せず、そのまま撮影されます。
- ストロボ充電中はファインダーランプが橙色に点滅します。液晶モニターがONの場合は一瞬黒い画面になる場合がありますが、異常ではありません。
- 電池の残容量が少ない場合、ストロボ充電時間が長くなることがあります。
- 被写体（画像の細かさなど）によって記録されるファイル量が一定ではないため、撮影可能枚数が減らないかまたは2コマ減る場合があります。
- 警告表示については96〜98ページをご参照ください。

画像記録中はファインダーランプが橙色に点灯し、撮影することはできません。また、画像記録中は電源を切ったり、電池カバーを開けないでください。画像ファイルが破壊されることがあります。

撮影してみましょう（オート撮影）

■ファインダーランプ表示について

色	状態	内容
緑	点灯	準備完了
	点滅	AF/AE動作中または手ブレ、AF警告、スマートメディアに記録中（次の撮影可能）
橙	点灯	スマートメディアに記録中 （次の撮影不可）
	点滅	ストロボ充電中
赤	点滅	● **スマートメディアについての警告** 未挿入、未フォーマット、フォーマット異常、ライトプロテクトシールがはられている、空き容量がない、スマートメディア異常 ● **レンズ動作異常** ＊液晶モニターONでは、液晶モニターに詳しい警告が表示されます（➡96ページ）。

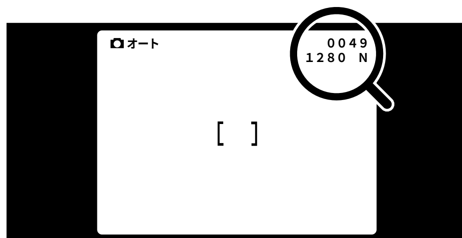
◆オートフォーカスの苦手な被写体◆

このカメラは、正確なオートフォーカス機構を採用していますが、次のような条件・被写体に対してはオートフォーカスが働きにくく、ピントが合わない状態で撮影されることがあります。

- 鏡・車のボディなど光沢があるもの
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮のように光を反射しにくいもの
- 煙や炎などのように実体のないもの
- 被写体が遠くて暗いとき
- 被写体の明暗差がはっきりしないとき（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 被写体の手前や後方に物体が共存するとき（オリの中の動物や木の前の人物など）
- 高速で移動する被写体

撮影可能枚数について

液晶モニターに撮影可能枚数が表示されます。



- ピクセル（画像サイズ）/クオリティー（圧縮率）の変更は、41ページをご参照ください。
- 工場出荷時設定は、1280×960（ピクセル）、N：NORMAL（クオリティー）です。

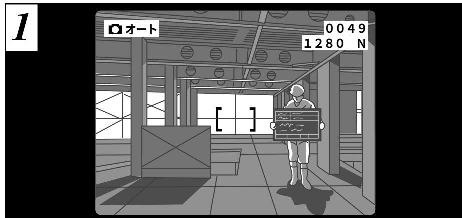
■スマートメディア™標準撮影枚数

被写体によって記録されるデータ量が一定ではないため、記録後の撮影可能枚数が減らないか、または2コマ減る場合があります。また、撮影枚数はスマートメディアの容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります。

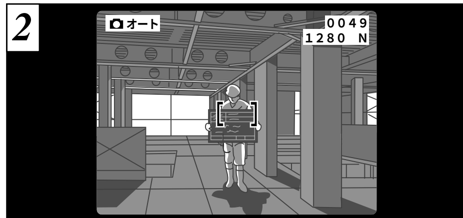
ピクセル（記録画素数）	2400×1800（432万）			1600×1200（192万）		1280×960（123万）		640×480（30.7万）
クオリティー	FINE	NORMAL	BASIC	FINE	NORMAL	FINE	NORMAL	NORMAL
画像1枚のファイルサイズ	約1700KB	約1070KB	約330KB	約770KB	約490KB	約620KB	約320KB	約130KB
MG-4S（4MB）	2	3	11	4	7	6	12	30
MG-8S（8MB）	4	7	23	10	16	12	24	61
MG-16S（16MB）	9	14	47	20	31	25	49	123
MG-32S（32MB）	18	29	94	41	64	50	99	248
MG-64S（64MB）	36	59	189	82	128	101	198	497
MG-128S（128MB）	74	118	379	166	257	204	398	997

＊スマートメディアをフォーマットした状態の撮影可能枚数です。

AF/AEロック撮影



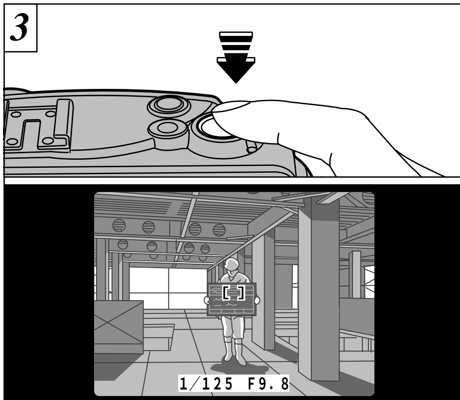
このような構図で撮影する場合には2以降の手順でAF/AEロックをお使いください。このままで撮影すると背景の窓にピントが合って、被写体(この場合は人物)にピントが合いません。



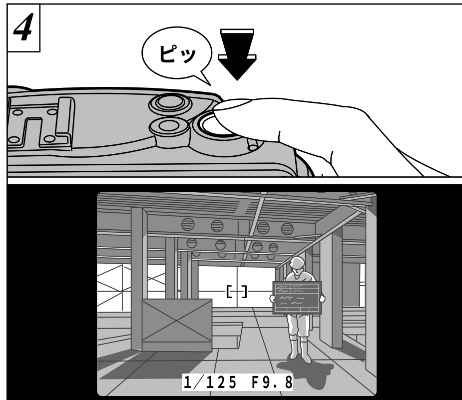
被写体がAFフレームに入るようにカメラを少し動かします。

◆AF(オートフォーカス)/AE(オートエクスポージャー)ロック◆

このカメラでは、シャッターボタンを半押しするとピントと露出を固定(AF/AEロック)します。画面の端の被写体にピントを合わせたり、露出を決めてから構図を変えたい場合には、AF/AEロックをしてから構図を変えて撮影すると、きれいに撮影できます。



そのままシャッターボタンを半押し（AF/AEロック）し、液晶モニターのAFフレームが小さくなり、“シャッタースピード/絞り値”が表示（ファインダーランプ［緑］が点滅から点灯）されるのを確認します。

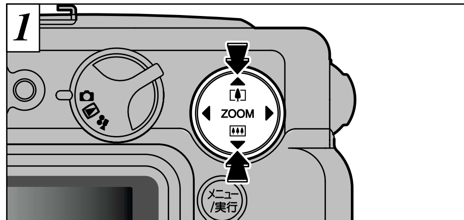


シャッターボタンを半押し（AF/AEロック）のまま最初の構図に戻して、さらにシャッターボタンを押し込みます。

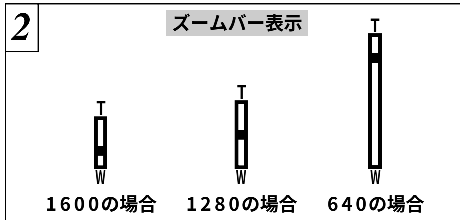
- AF/AEロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。
- AF/AEロック撮影は、どのような撮影方法でも有効です。AF/AEロックをうまく活用しましょう。

2

デジタルズーム



ピクセル（画像サイズ）設定が“1600×1200”“1280×960”“640×480”ではデジタルズームができます。ただし、液晶モニターを使用した撮影でのみ有効です。
被写体を大きく写したいときは、“▲”[♠]（望遠）を押します。広い範囲を写したいときは、“▼”[♠♠♠]（広角）を押します。



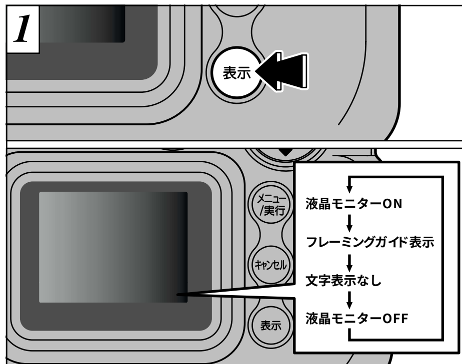
液晶モニターには“ズームバー”が表示されますが、ピクセル設定により長さが変わります。

●デジタルズーム焦点距離（35mmカメラ換算）
“1600×1200”：約28mm〜約42mm
最大ズーム倍率　約1.5倍
“1280×960”：約28mm〜約53mm
最大ズーム倍率　約1.88倍
“640×480”：約28mm〜約105mm
最大ズーム倍率　約3.75倍

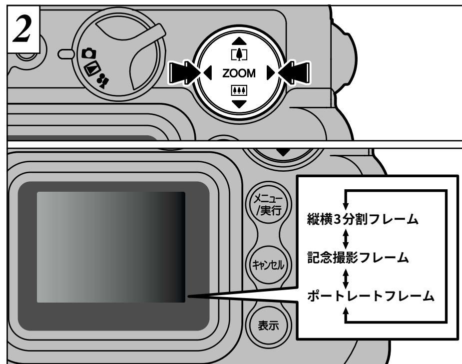
❗“2400×1800”ではデジタルズームはできません。
❗ピクセル（画像サイズ）設定の変更について詳しくは41ページをご参照ください。

❗ズームしてピントがずれた場合、シャッターボタンを半押ししてください。
❗デジタルズームにすると、液晶モニターの映像がなめらかに変化しなくなります。

ベストフレーミング機能



オート撮影では、“ 表示 ”ボタンを押すごとに液晶モニターの表示が切り換わります。“ 表示 ”ボタンを押して“ フレーミングガイド ”を表示します。



“ ◀▶ ”で3種類のフレーミングガイドを選択できます。フレーミングガイドは液晶モニターで撮影するときに、構図を決める際の目安になります。

2

❗フレーミングガイドは画像に記録されません。

ベストフレーミング機能

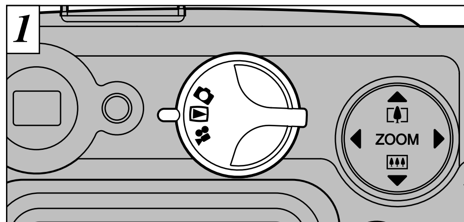
縦横3分割フレーム	記念撮影フレーム	ポートレートフレーム（人物縦位置撮影フレーム）
主要な被写体を縦横の交点に配置したり、横のラインに地平線や水平線を合わせて使用します。被写体の大きさやバランスを見ながら、意図的な構図で撮影できます。	2人以上の記念撮影に使用します。被写体をフレームの中にできるだけ大きく配置すると、表情をはっきり写し込んだ写真になります。	ポートレート撮影に使用します。顔の大きさを各フレームに合わせることにより、大きなフレームはアップ、中ぐらいのフレームは胸から上、小さなフレームは半身の撮影になります。撮影距離が50cm以下のときは、マクロ撮影をしてください。
オート 0049 1280 N [ ]	オート 0049 1280 N [ ]	0049 1280 N オート

縦横3分割フレームのラインは、縦横の記録画素数の3分割の目安です。プリントすると、3分割の位置から少しずれる場合もあります。

◆重要◆

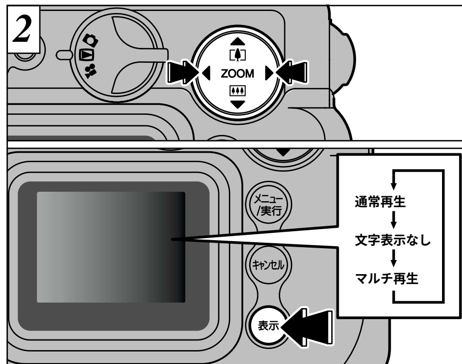
必ずAF/AEロックを使って構図を決めてください。
AF/AEロックをしないとピントが合わないことがあります。

画像を見るには（再生）



モードレバーを“ ▶ ”(再生) に合わせます。

- モードレバーを“ ▶ ”に合わせたときは、最後に撮影した画像が再生されます。
- 液晶モニターが見にくい場合は、液晶モニターの明るさを調節してください (➡80ページ)。



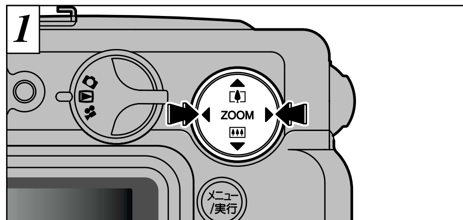
“ ▶ ”順送り、“ ◀ ”逆送りで画像を見ることができます。また、“ 表示 ”ボタンを押すたびに液晶モニターの表示が切り換わります (マルチ再生➡34ページ)。

◆再生できる静止画ファイルについて◆

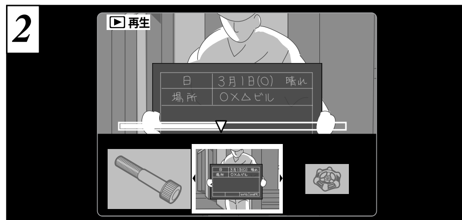
本機で記録した静止画ファイル、または弊社製デジタルカメラ FinePixシリーズ (対応画素サイズは2400×1800画素まで)、CLIP-IT80/50、DS-30/20/10およびDS-260HD/250HD/230HD、あるいはそのほかのDCF対応カメラで、3.3V仕様のスマートメディアに記録した静止画 (JPEG) ファイルが再生できます。

2

画像の早送り



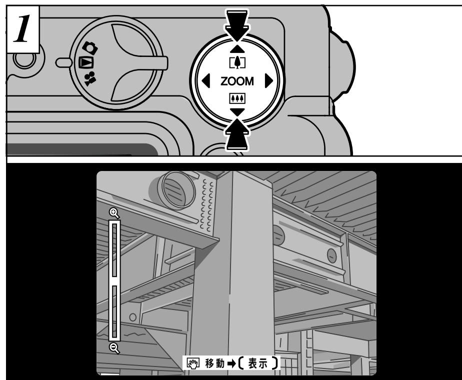
再生中に“ ◀ ”または“ ▶ ”を約3秒間押し続けると、画像を早送りできます。



早送り中は液晶モニターに小さく3コマ同時に表示されます。早送りをやめると、枠で囲われた画像が液晶モニターに1コマ表示されます。

❗スマートメディア内のおおよその再生位置が、目安となるバーで表示されます。

再生ズーム

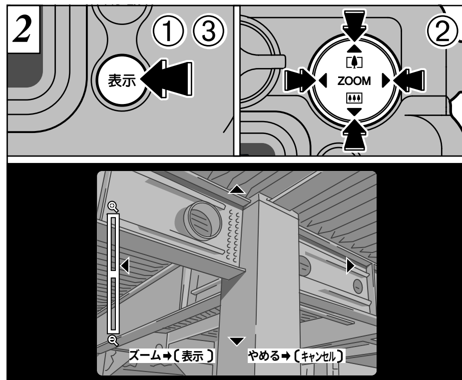


1コマ再生中に“ ▲ ”を押すと、静止画をズームします。このとき“ ズームバー ”が表示されます。

●ズーム倍率

2400×1800ピクセル画像：最大15倍
1600×1200ピクセル画像：最大10倍
1280× 960ピクセル画像：最大8倍
640× 480ピクセル画像：最大4倍

❗ズーム中に“ ◀▶ ”を押すと、ズームが解除され次の画像に送られます。

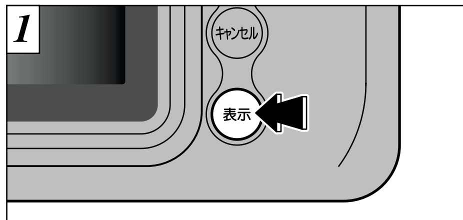


ズームしたあとに、
①“ 表示 ”ボタンを押します。
②“ ▲▼◀▶ ”を押すと、見える範囲を移動できます。
③もう一度“ 表示 ”ボタンを押すとズームに戻ります。

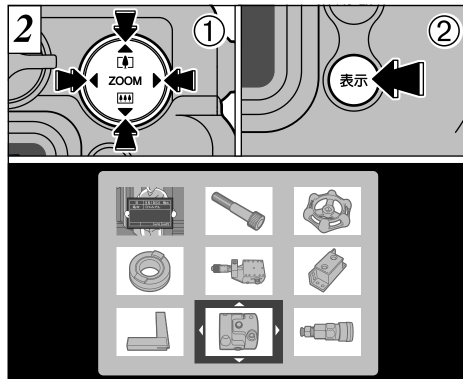
❗“ キャンセル ”ボタンを押すと画像が等倍に戻ります。
❗他機種で撮影された画像は、再生ズームできないことがあります。

撮影後のピント確認などに便利です。

マルチ再生



再生中に“ 表示 ”ボタンを押すと液晶モニターの表示が切り換わります。“ 表示 ”ボタンを数回押してマルチ再生（9コマ）にします。

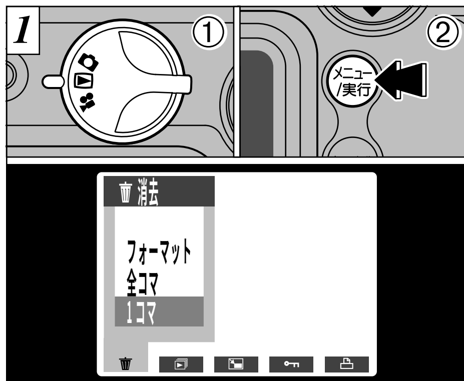


①“ ▲▼◀▶ ”でカーソル（橙色の枠）を動かして、コマを選べます。数回“ ▲ ”か“ ▼ ”を押すと次のページに切り換わります。
②“ 表示 ”ボタンを押すと、選択中の画像が大きく表示されます。

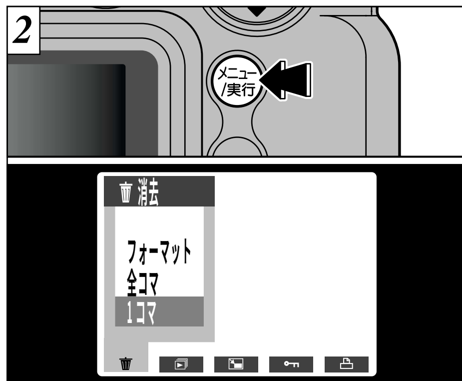
❗液晶モニターの文字表示は、約3秒後に消えます。
❗再生ズーム中はマルチ再生はできません。

❗マルチ再生は、1コマ消去、1コマプロテクト、リサイズ、DPOF（プリント予約）1コマセットで画像を選択する場合に便利です。

画像を消すには（1コマ消去）



①モードレバーを“ ▶ ”(再生) に合わせます。
②“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと液晶モニターにメニューが表示されます。

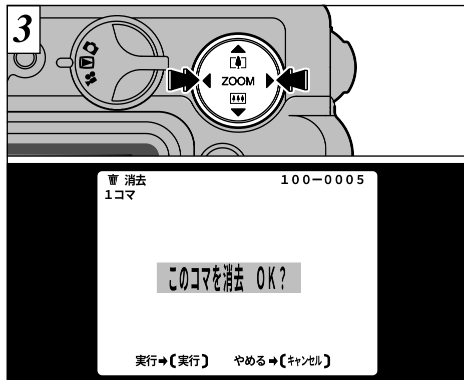


“ 🗑 消去 ”の“ 1コマ ”が選択された状態で、“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

2

❗全コマ消去、フォーマットについて、詳しくは57ページをご参照ください。
❗画像を選ぶときは、マルチ再生（➡34ページ）すると便利です。

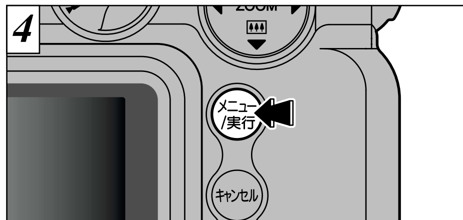
画像を消すには(1コマ消去)



“ ◀▶ ”を押して消去したい画像を表示します。

● 一度消去した画像は元に戻せません。確認してから“ メニュー/実行 ”ボタンを押してください。

● 1コマ消去をやめたい場合は、“ キャンセル ”ボタンを押しメニューに戻ります。メニューを終了するには、もう一度“ キャンセル ”ボタンを押してください。



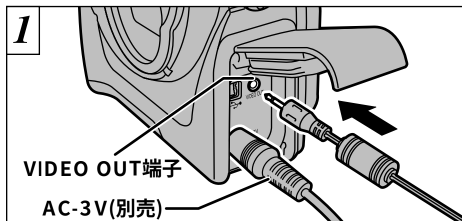
“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと、表示している画像が消去されます。消去が終わると次の画像が再生され、“ このコマを消去OK? ”が表示されます。“ キャンセル ”ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

● “ PROTECT ”が表示された場合、プロテクトをリセットする必要があります(➡62ページ)。

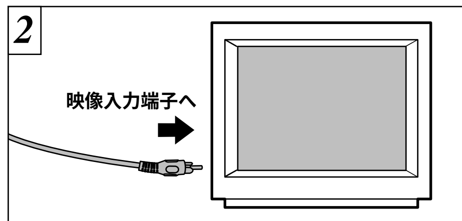
● “ DPOFセットされています消去しますか? ”が表示された場合は、DPOF(プリント予約)指定されています。“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと画像を消去し、DPOF指定が更新されます。

消去を続けるには、3からの操作を繰り返します。

テレビに画像を映す場合



カメラとテレビの電源を切ります。カメラの“VIDEO OUT(映像出力)”端子にビデオケーブル(付属品)のプラグを接続します。



テレビの映像入力端子にピンプラグを接続し、カメラとテレビの電源を入れて通常どおり撮影、再生を行ってください。

2

- コンセントが近くにある場合は、ACパワーアダプターAC-3V(別売)を接続することをおすすめします。
- ビデオケーブルを接続すると、液晶モニターは使用できません。

- テレビの映像入力については、テレビの説明書をご参照ください。

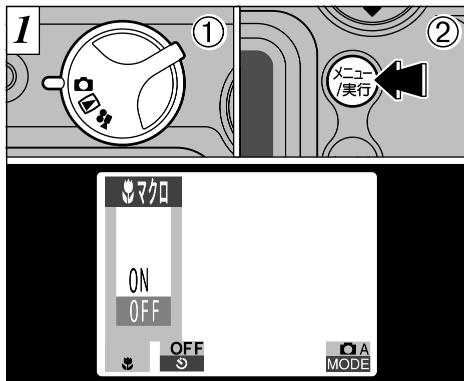
応用編 撮影では

応用編 撮影では、モードレバーを" 📷 "または" 🎥 "に合わせた状態で行えるいろいろな機能をご紹介します。

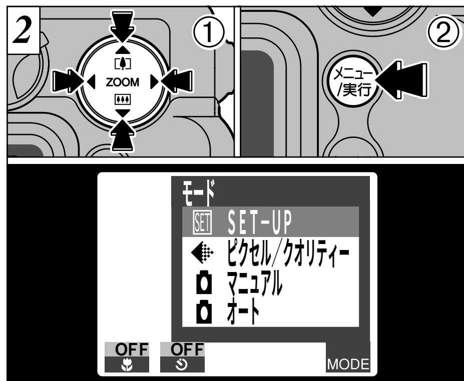
■撮影モード仕様一覧

モードレバー	撮影モード	設定可能メニュー	工場出荷時	ストロボ撮影 (➡47ページ)
📷 静止画	📷 オート (➡40ページ) もっとも簡単に撮影ができる用途の広いモードです。	マクロ (➡42ページ) セルフタイマー (➡43ページ) MODE (➡40ページ)	OFF OFF ——	○
	📷 マニュアル (➡40ページ) " アカルサ・ホワイトバランス " を設定できるモードです。	マクロ (➡42ページ) セルフタイマー (➡43ページ) アカルサ(露出補正) (➡45ページ) WB ホワイトバランス (光源選択) (➡46ページ) MODE (➡40ページ)	OFF OFF 0 AUTO ——	
🎥 動画(ムービー) (➡51ページ)	一回、最長80秒の動画撮影モードです。	——	——	×

撮影メニューの操作

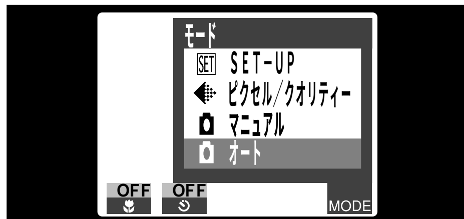


①モードレバーを" "(静止画)に合わせます。
②"メニュー/実行"ボタンを押して液晶モニターにメニューを表示します。



①"◀▶"でメニュー(" "、" "、"MODE"など)を選択します。"▲▼"で設定を変更します。
②"メニュー/実行"ボタンを押して決定します。

静止画メニュー MODE モードの切り換え



オート、マニュアル、ピクセル/クオリティー、SET－UP (セットアップ) モードを切り換えます。

オート

オートは、もっとも簡単に撮影ができる撮影用途の広いモードです。
＊マクロ (➡42ページ)、セルフタイマー (➡43ページ) の設定ができます。

マニュアル

マニュアルは、メニューの各種設定を組み合わせて撮影できるモードです。
＊マクロ (➡42ページ)、セルフタイマー (➡43ページ)、アカルサ (➡45ページ)、WB ホワイトバランス (➡46ページ) の設定ができます。

ピクセル/クオリティー

“ピクセル/クオリティー”を設定できます (➡41ページ)。

SET SET－UP (セットアップ)

撮影に関する設定を変更できます(➡77ページ)。

静止画メニュー ピクセル（画像サイズ）/クオリティー（圧縮率）

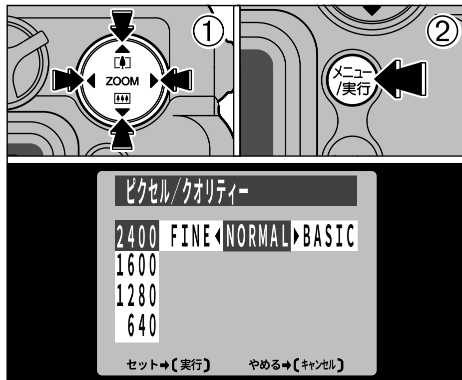
4種類のピクセルと、3種類のクオリティーの組み合わせを選べます。下記の表を目安にお試しいただき、目的に応じた設定をしてください。

画像サイズ	FINE	NORMAL	BASIC
2400×1800	❶	❶	❷
1600×1200	❷	❷	ー
1280×960	❸	❸	ー
640×480	ー	❹	ー

❶：A4サイズ程度でプリントする場合や、画像の一部をトリミングしてA5/A6サイズ程度でプリントする場合。
❷：A5サイズ程度でプリントする場合や、画像の一部をトリミングしてA6サイズ程度でプリントする場合。
❸：A6サイズ程度でプリントする場合。
❹：Eメールの画像添付用などインターネットで使用する場合。

クオリティー（圧縮率）について

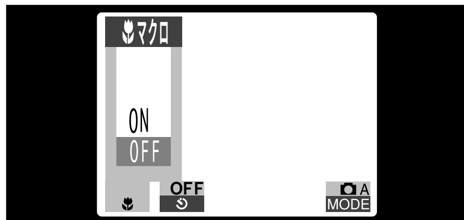
画質を優先する場合は“ FINE ”を、枚数を優先する場合は“ BASIC ”を選んでください。
通常は、“ NORMAL ”で十分な画質が得られます。



①“ ▲▼ ”でピクセル設定を変更し、“ ◀▶ ”でクオリティー設定を変更します。
②“ メニュー/実行 ”ボタンを押して決定します。

! ピクセルとクオリティーの組み合わせで撮影可能枚数が変わります（➡25ページ）。
! 撮影後の画像をリサイズ（縮小）することができます（➡60ページ）。

静止画メニュー ❀ マクロ(近距離)



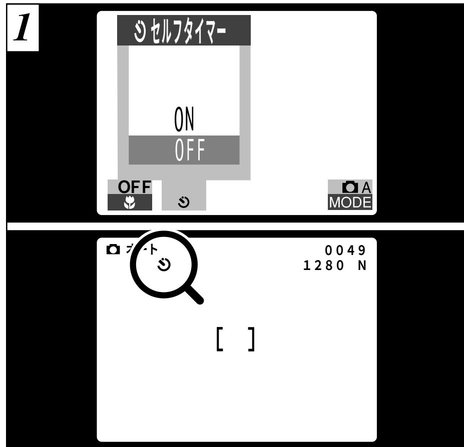
撮影モードが“ 📷 オート、📷 マニュアル ”で設定できます。
マクロを設定すると、約10cm〜50cmの範囲で近距離撮影ができます。
“ ON ”にして、“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。液晶モニターに、“ ❀ ”が表示されます。

❗液晶モニターは自動的にONになります。
❗暗い場所で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

撮影の状況に応じてストロボ撮影の設定をしてください。40cmより近づいた場合には、露出オーバーになることがありますのでストロボを発光禁止にすることをおすすめします(➡47、48ページ)。

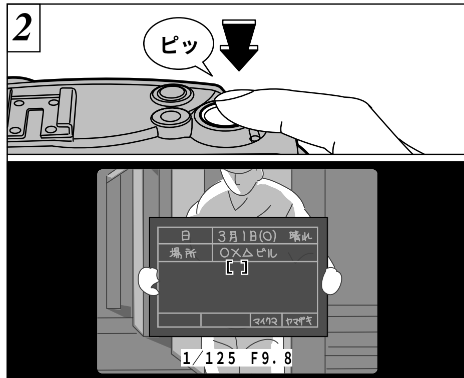
マクロ撮影でファインダーを使うと、ファインダー窓とレンズの位置が違うため、実際に見える範囲と写る範囲にズレが生じます。そのため、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。

静止画メニュー ◷ セルフタイマー



撮影モードが“ ◘ オート、◘ マニュアル ”で設定できます。
“ ON ”にすると液晶モニターに、“ ◷ ”が表示されます。

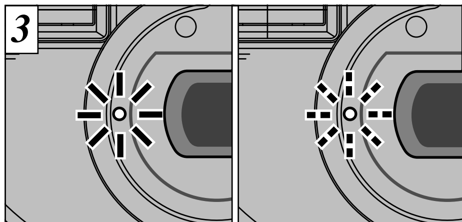
❗“ ベストフレーミング機能 ”の使用も可能です（➡29ページ）。



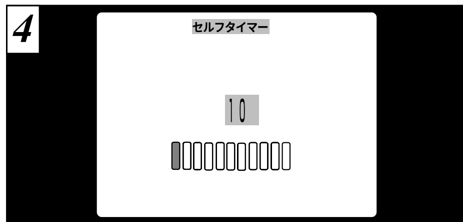
被写体にAFフレームを合わせ、シャッターボタンを押すとAFフレーム内に見えるものにピントが合い、セルフタイマーがスタートします。

❗AF/AEロック撮影も可能です（➡26ページ）。
❗レンズの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピンボケになったり、適正な明るさ（露出）にならないことがあります。

3



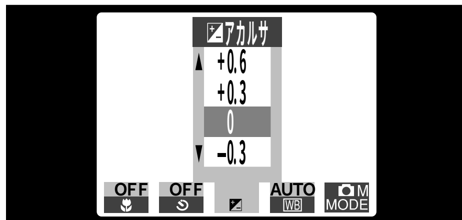
セルフタイマーランプが約5秒間点灯したのち点滅に変わり、さらに約5秒後に撮影されます。



撮影されるまでの間、液晶モニターにカウントダウン表示されます。
セルフタイマーは撮影ごとに自動的に解除されます。

スタートしたセルフタイマーは、“ キャンセル ”ボタンを押すと解除できます。

静止画メニュー  アカルサ（露出補正）



撮影モードが“ マニュアル ”で設定できます。被写体と背景のコントラスト（明暗の差）がきわめて大きい場合など、適正な明るさ（露出）が得られないときに使用します。

●補正範囲は11段階（－1.5EV～＋1.5EV，約0.3EVステップ）です。EVについては89ページをご参照ください。

次のような状態では、アカルサ設定が無効になります。

- オートまたは赤目軽減でストロボが発光したとき
- 強制発光で撮影シーンが暗いとき

◆次のような被写体のとき効果があります◆

＋（プラス）補正

- 白っぽい紙に黒い文字の印刷物の複写（＋1.5EV）
- 逆光の人物撮影（＋0.6EV～＋1.5EV）
- スキー場などの明るい場面や反射の強い場合（＋0.9EV）
- 画面内を空の部分が大きく占める場合（＋0.9EV）

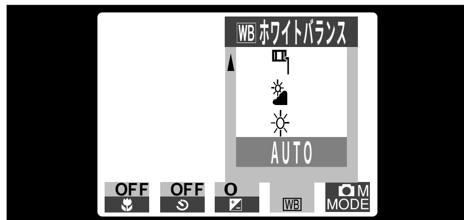
－（マイナス）補正

- スポットライトを浴びた人物、特にバックが暗い場合（－0.6EV）
- 黒っぽい紙に白い文字の印刷物の複写（－0.6EV）
- 常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合（－0.6EV）

＊（　）内は補正の目安です。

3

静止画メニュー WB ホワイトバランス（光源選択）



撮影モードを“ マニュアル ”で設定できます。撮影時の環境・照明光に合わせ、ホワイトバランスを固定して撮影したい場合に設定を変更します。

AUTO時は、人物の顔のアップなどの被写体や特殊な光源下では、正しいホワイトバランスが得られない場合があります。その場合は光源に合わせたホワイトバランスを選択してください。ホワイトバランスについては89ページをご参照ください。

AUTO ：自動調整（光源の雰囲気を残した撮影）

☀ ：晴れた屋外での撮影

日陰マーク ：日陰での撮影

蛍光灯1 ：昼光色蛍光灯下での撮影

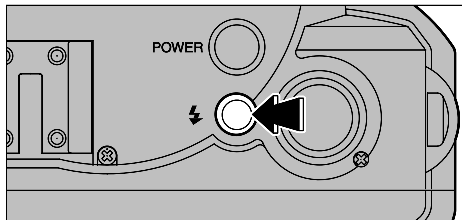
蛍光灯2 ：昼白色蛍光灯下での撮影

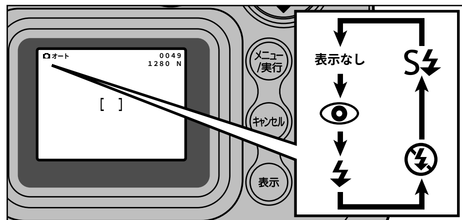
蛍光灯3 ：白色蛍光灯下での撮影

電球マーク ：電球、白熱灯下での撮影

＊ストロボ発光時は、ホワイトバランス設定は無効になります。意図した撮影をする場合は、ストロボを発光禁止（➡48ページ）にしてください。

ストロボ撮影





撮影の目的に合わせて5種類のストロボ撮影が選べます。" ⚡ "ストロボボタンを押すたびに、液晶モニターに " オートストロボ（表示なし）→ 👁→⚡→🚫⚡→S⚡ "の順に表示され、最後に表示したストロボ撮影が選択されます。

●ストロボ撮影可能距離
約0.4m〜5m

! ストロボ発光禁止に設定した場合は、電源を入れてから撮影可能になるまでの時間が短くなります。
! ストロボを発光禁止からそれ以外に切り換えた場合、充電するために映像が消えて黒い画面になる場合があります。このときファインダーランプが橙色に点滅します。

オートストロボ（表示なし）

一般的な撮影に使用します。撮影状況に応じて、ストロボが自動的に発光します。

塵や埃の多い環境でストロボ撮影を行った際に、ストロボの反射で白点が発生することがあります。

赤目軽減ストロボ

**暗いところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。
撮影前にストロボがプレ発光し、次に撮影のためのストロボが発光します。**

◆赤目現象について◆

人物を暗いところでストロボ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これは、ストロボの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするために、赤目軽減ストロボを積極的にご利用ください。赤目軽減ストロボを使用するとともに、

- 撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう
- なるべく近づいて撮影する

などするとより効果的です。

強制発光ストロボ

**窓際や木陰などの逆光撮影、蛍光灯などの照明の下で適正な色に撮りたいときに使用します。
明るいところでもストロボ撮影が行われます。**

ストロボ発光禁止

**ストロボの発光を禁止します。
室内照明を利用しての撮影、舞台や室内競技などのストロボ光が届かない距離での撮影などに使用します。この場合、オートホワイトバランス（➡89ページ）が働き、周囲光の雰囲気を残しつつ自然な色に撮影できます。**

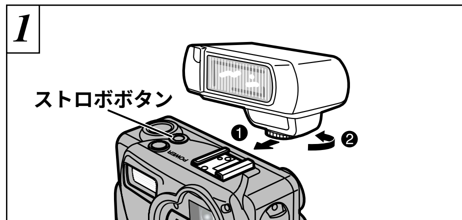
- 暗い場所でストロボ発光禁止で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。
- 手ブレ警告については24、97ページをご参照ください。

S⚡ スローシンクロ

スローシャッター（長時間露光）でストロボ発光します。夜景と人物をきれいに撮影できます。

- スローシャッターになりますので、手ぶれ防止のため三脚の使用をおすすめします。

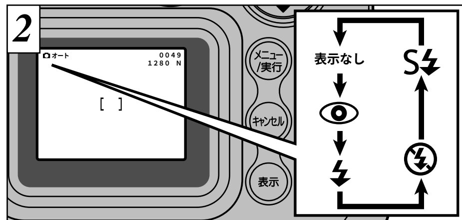
外部ストロボを使用する



外部ストロボをカメラのアクセサリーシューに取り付けます。

◆使用可能なストロボ◆

次の4条件を同時に満たすもの
●スレーブ発光機能を持っている
●絞り値設定が可能
●外部調光が可能
●感度設定が可能

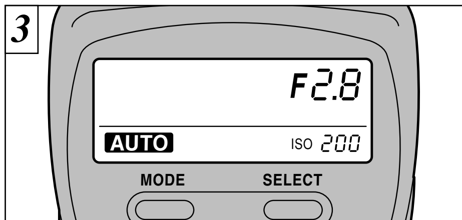


内蔵ストロボの発光モードを設定します。

■外部ストロボの動作

内蔵ストロボのモード	外部ストロボの動作
オート、強制発光ストロボ、スローシンクロ	内蔵ストロボと連動して発光します。
ストロボ発光禁止	発光しません。
赤目軽減ストロボ	プレ発光に連動して発光します。

＊外部ストロボ単独で、発光させることはできません。

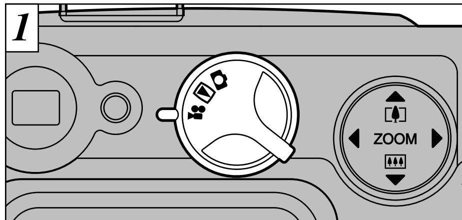


ストロボの説明書を参照して、外部ストロボを設定します。

感　度：ISO 200
絞り値：シャッター半押しで表示される数値
モード：外部調光モードに設定します（TTLモードは使用できません）。

! 外部ストロボをお使いになる場合はストロボの設定などを決めるため撮影画像を液晶モニターで確認することをおすすめします。
! スレーブ発光機能を持つストロボをお使いください。

動画モード 動画(ムービー)撮影



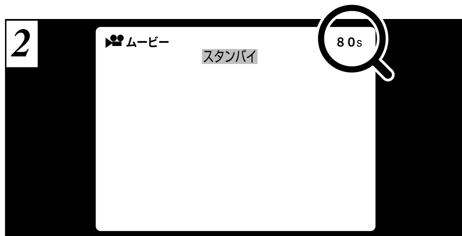
モードレバーを“ ”(動画)に合わせます。

動画

1回、最長80秒の動画撮影モードです。

●撮影形式：Motion JPEG 形式(➡89ページ)
320×240ピクセル
10フレーム/秒
音声なし

スマートメディアの空き容量によっては、1回の撮影時間が80秒より短くなることがあります。
液晶モニターをOFFにすることはできません。
本機以外のカメラでは再生できない場合があります。



液晶モニターに撮影可能時間と“ スタンバイ ”が表示されます。

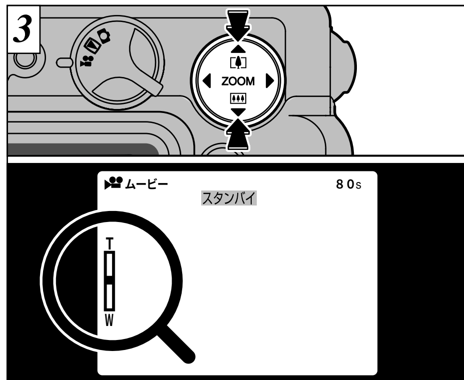
3

■スマートメディア標準撮影可能時間

スマートメディア容量	撮影可能時間
MG-4S(4MB)	約22秒
MG-8S(8MB)	約45秒
MG-16S(16MB)	約90秒
MG-32S(32MB)	約182秒
MG-64S(64MB)	約364秒
MG-128S(128MB)	約732秒

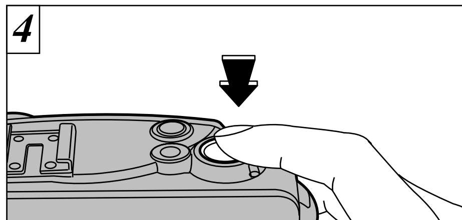
＊スマートメディアをフォーマットした状態の撮影可能時間です。

動画（ムービー）撮影



“ ▲▼ ”でデジタルズームができます。液晶モニターに“ ズームバー ”が表示されます。

●デジタルズーム焦点距離（35mmカメラ換算）
約36mm〜約68mm相当（1.88倍）



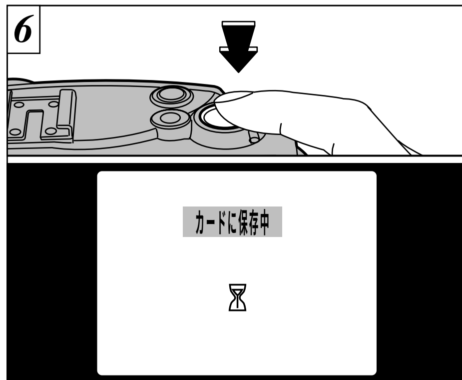
シャッターボタンを全押しすると、撮影が開始されます。

❗シャッターボタンを押し続ける必要はありません。
❗ピントは約50cm〜無限遠の固定になります。
❗撮影中のピント、ホワイトバランスは固定されますが、露出はシーンに応じて自動的に変化します。

ホワイトバランスはシャッターボタンを全押しすると、自動的に設定されます。



撮影中は液晶モニターに“ 録画時間バー ”が表示されます。



撮影中にもう一度シャッターボタンを押すと、録画が終わりスマートメディアに記録します。

“ 録画時間バー ”は、撮影時間の目安を表しています。バーがいっぱいになると自動的に撮影が終了し、スマートメディアに記録されます。

約80秒の動画（約12MB）のスマートメディアへの書き込み時間は約11秒です。

撮影開始後すぐに終了しても、約3秒間だけスマートメディアに記録されます。

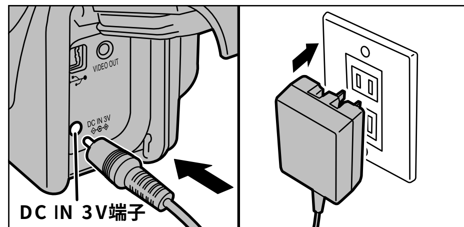
3

応用編 再生では

応用編 再生では、モードレバーを“ ▶ ”に合わせた状態で行えるいろいろな機能をご紹介します。

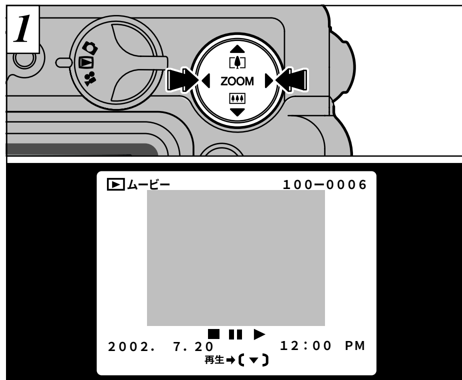
■再生モードメニュー一覧

再生している画像	設定可能メニュー
静止画 (➡31ページ)	消去(1コマ・全コマ・フォーマット)(➡35、57ページ) オートプレイ(自動再生)(➡59ページ) リサイズ(縮小)(➡60ページ) プロテクト(消去防止)(➡62ページ) DPOF(Digital Print Order Format)(➡66ページ)
動画(ムービー) (➡55ページ)	消去(1コマ・全コマ・フォーマット)(➡35、57ページ) オートプレイ(自動再生)(➡59ページ) インデックス作成(➡75ページ) プロテクト(消去防止)(➡62ページ)



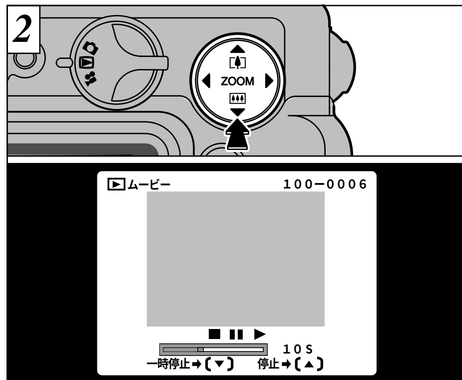
コンセントが近くにある場合は、静止画や動画を再生している最中に電源が切れないように、ACパワーアダプター AC-3V(別売)での使用をおすすめします(➡19、87ページ)。

動画（ムービー）再生



“ ◀▶ ”で動画（ムービー）ファイルを選びます。液晶モニターには動画用の画面が表示されます。

マルチ再生や画像の早送りでも、動画はひと回り小さく表示されます。

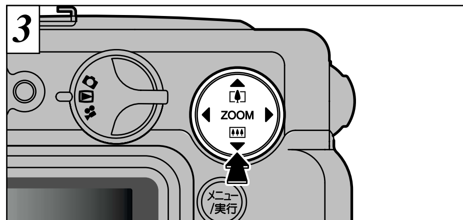


再生する場合は“ ▼ ”を押します。再生すると液晶モニターに、再生中のバー表示と時間が表示されます。

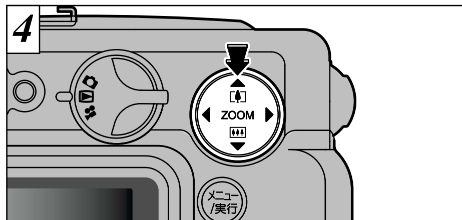
- 再生するときにファイルを読み込むため、一時的に黒い画面になります。
- 再生が終わると自動的に停止し、最初の画面に戻ります。
- 高輝度の被写体を撮影した場合、再生時に縦に白いスジが入ることがありますが故障ではありません。

4

動画（ムービー）再生



動画再生を一時停止するには“ ▼ ”を押します。一時停止を解除するにはもう一度“ ▼ ”を押します。



再生をやめるには“ ▲ ”を押します。

◆再生できる動画ファイルについて◆

本機で記録した動画ファイル、または弊社製デジタルカメラで3.3V仕様のスマートメディアに記録した80秒以内の動画ファイルが再生できます。
記録時間が80秒を超える動画ファイルは“ READ ERROR ”が表示され、再生することはできません。

再生メニュー 🗑 1コマ・全コマ消去/フォーマット

1コマ消去

選んだファイルだけを消去します。

❗ プロテクトしたファイル (➡62〜65ページ) は消せません。

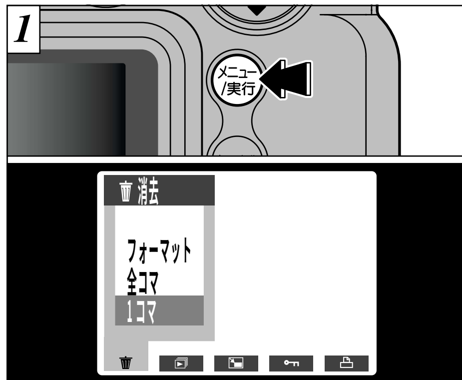
全コマ消去

プロテクトされたファイル以外をすべて消去します。消去したくないファイルはパソコンなどにコピーしてください。

フォーマット

すべてのファイルを消去します。プロテクトされたファイルもすべて消去しますので、フォーマットする場合は十分にご注意ください。消去したくないファイルはパソコンなどにコピーしてください。

❗ プロテクトしたファイルも消えます。



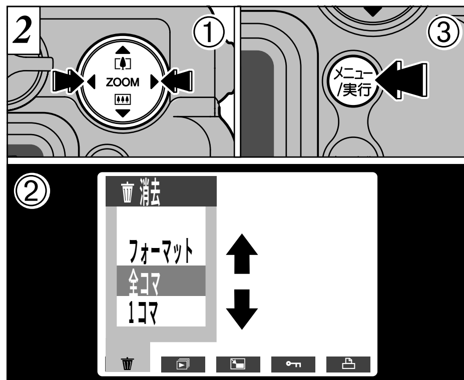
“ メニュー/実行 ”ボタンを押して液晶モニターにメニューを表示します。

❗“ CARD ERROR ”“ READ ERROR ”“ CARD NOT INITIALIZED ”が表示された場合は96、97ページをご参照ください。

❗ メニューを終了するには“ キャンセル ”ボタンを押してください。

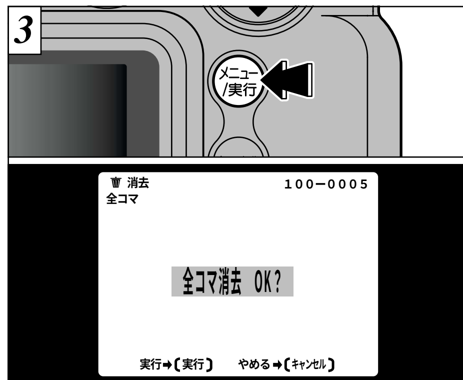
4

🗑 1コマ・全コマ消去/フォーマット



①“ ◀▶ ”で“ 🗑消去 ”を選びます。
②“ ▲▼ ”を押しで“ 1コマ ”か“ 全コマ ”か“ フォーマット ”を選びます。
③“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

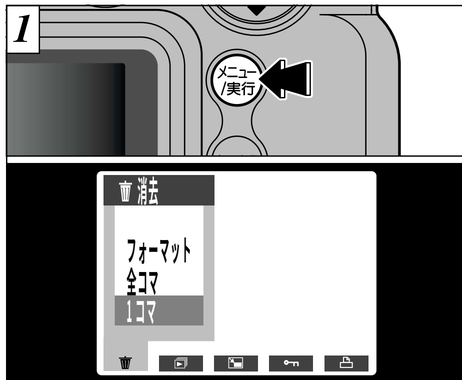
フォーマットするとすべての画像が消去されます。



実行を確認する画面が表示されます。
“ 1コマ ”ではファイルを“ ◀▶ ”で選んでから、“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。
“ 全コマ ”か“ フォーマット ”を実行するには、“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

❗やめる場合は“ キャンセル ”ボタンを押してください。
❗“ DPOFセットされています消去しますか？ ”が表示された場合は画像がDPOF設定されています。“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと画像を消去しDPOF設定が更新されます。

再生メニュー  オートプレイ(自動再生)

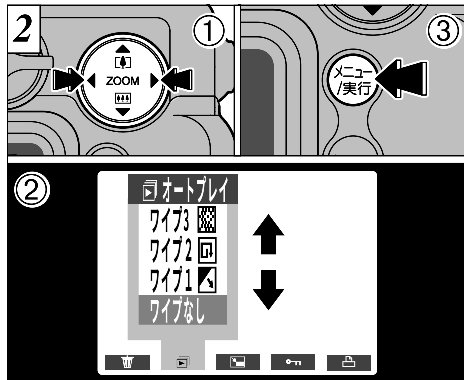


“ メニュー/実行 ”ボタンを押して液晶モニターにメニューを表示します。

- オートプレイ中はオートパワーオフしません。
- 動画は自動的に再生が始まります。再生が終わると次のコマに進みます。

◆表示方法◆

ワイプ1	……斜め
ワイプ2	……うず巻き
ワイプ3	……モザイク



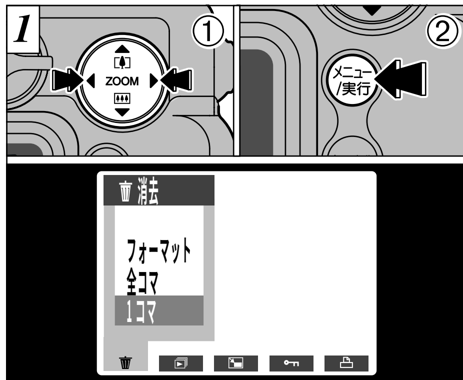
①“ ◀▶ ”で“ オートプレイ ”を選びます。
②“ ▲▼ ”を押して3種類の表示方法(ワイプ)から選びます。
③“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。画像が自動的にコマ送りされて再生されます。

- “ 表示 ”ボタンを1回押すと、液晶モニターに“ オートプレイ ”と再生コマNo.が表示されます。
- 途中で止めたい場合は“ キャンセル ”ボタンを押してください。

4

再生メニュー  リサイズ（縮小）

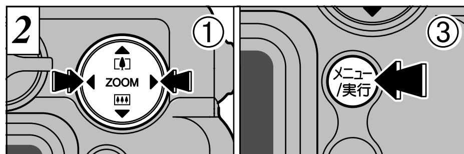
リサイズすると、ファイル容量が小さくなったファイルを新しく作成します。
画像サイズ（ピクセル）が“ 2400×1800・1600×1200・1280×960 ”の静止画のみリサイズできます。
“ 640×480 ”の画像サイズの場合、リサイズのメニューは選択できません。

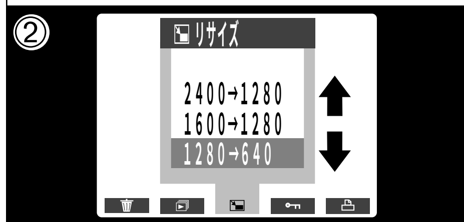


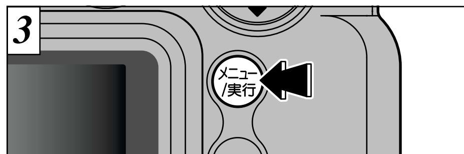
①“ ◀▶ ”でリサイズしたい画像を選びます。
②“ メニュー/実行 ”ボタンを押して液晶モニターにメニューを表示します。

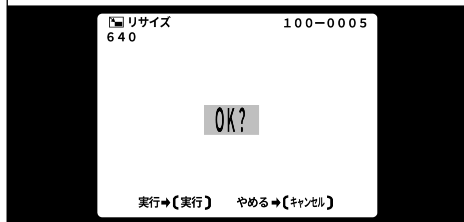
◆こんなときに使います◆
Eメールに画像を添付したいとき、リサイズすると便利です。

❗動画はリサイズできません。









①“ ◀▶ ”で“ リサイズ ”を選びます。
②“ ▲▼ ”を押して変更したいサイズを選びます。
③“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

実行を確認する画面が表示されます。OKなら“ メニュー/実行 ”ボタンを押して実行します。画像は別ファイルで記録されます。

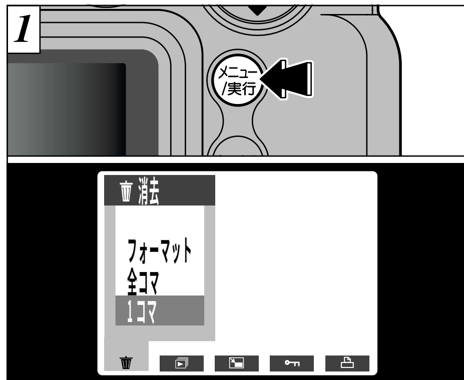
4

❗実行可能なサイズのみ選択できます。

❗“ CARD FULL ”または“ PROTECTED CARD ”と表示された場合は作動しません。不要な画像を消去するかプロテクトされていないスマートメディアを使用してください。

❗リサイズしない場合は“ キャンセル ”ボタンを押し、メニューに戻ります。メニューを終了するにはもう一度“ キャンセル ”ボタンを押してください。

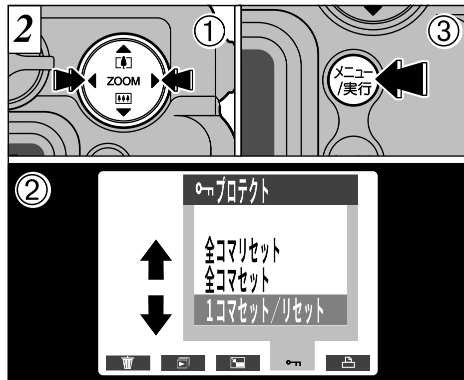
再生メニュー ⊶ 1コマプロテクト セット/リセット



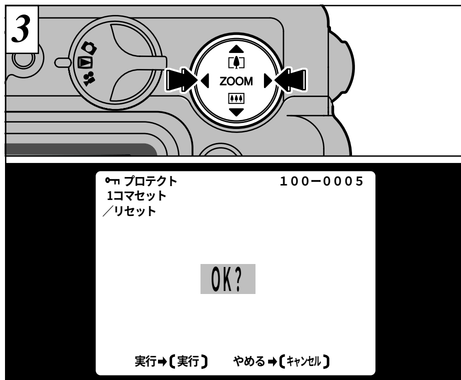
“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと液晶モニターにメニューが表示されます。

❗画像を選ぶときはマルチ再生 (➡34ページ) すると便利です。

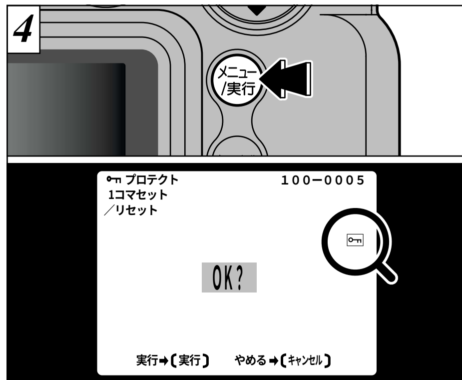
プロテクトとは、画像を誤って消去しないように設定することです。ただし“ フォーマット ”するとすべての画像が消去されます(➡57ページ)。



①“ ◀▶ ”で“ ⊶プロテクト ”を選びます。
②“ ▲▼ ”を押して“ 1コマセット/リセット ”を選びます。
③“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。



“ ◀▶ ”でプロテクトしたい画像を選びます。



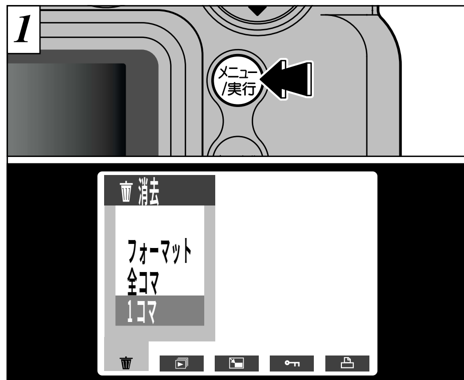
“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと画像がプロテクトされ、右端に“ 🔑 ”が表示されます。
プロテクトをリセットするには、もう一度“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

4

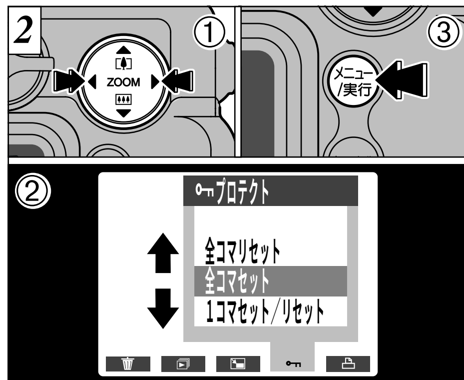
❗ プロテクト操作を終了するには“ キャンセル ”ボタンを押し、メニューに戻ります。メニューを終了するにはもう一度“ キャンセル ”ボタンを押してください。

プロテクトを続けるには、3からの操作を繰り返します。

再生メニュー ⊶ 全コマプロテクト セット/リセット

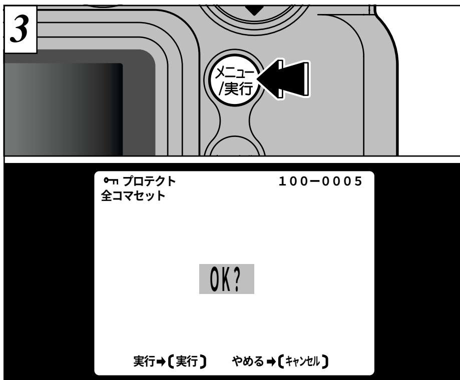


“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと液晶モニターにメニューが表示されます。



①“ ◀▶ ”で“ ⊶プロテクト ”を選びます。
②“ ▲▼ ”を押して“ 全コマセット ”か“ 全コマリセット ”を選びます。
③“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

プロテクトされていても“ フォーマット ”するとすべての画像が消去されます(➡57ページ)。

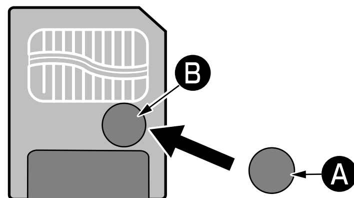


実行を確認する画面が表示されます。OKなら“ メニュー/実行 ”ボタンを押して実行します。

! プロテクト操作を終了するには“ キャンセル ”ボタンを押し、メニューに戻ります。メニューを終了するにはもう一度“ キャンセル ”ボタンを押してください。

スマートメディア™の誤記録防止について

ライトプロテクトシールをはると、画像の記録/消去・フォーマットができません。シールをはがすと通常どおり使用できます。ライトプロテクトシールは、別売のスマートメディアに同梱されています。



＊必ず付属のライトプロテクトシール❹を、ライトプロテクトエリア内❺に、はみ出さないようにしっかりとはってください。はがしたシールの再利用はできません。
＊シールの端で手を切らないようにご注意ください。
＊シールが汚れていると、誤記録防止されないことがあります。
＊スマートメディアについて、詳しくは94、95ページをご参照ください。

4

再生メニュー DPOF（プリント予約）について



DPOF（ディーポフ）とはDigital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたいコマやその枚数などのプリント予約情報をスマートメディアなどに記録するときの形式です。

デジタルカメラ

スマートメディア

DPOFファイル
・画像ファイルの指定
・プリント枚数の指定 他

画像ファイル（1）　画像ファイル（2）　画像ファイル（3）

DPOF対応プリンター

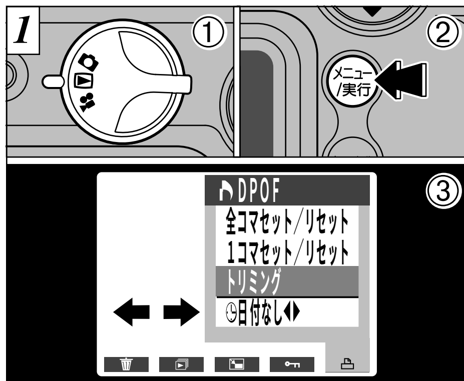
FUJIFILM デジカメから、フジカラープリント デジカメプリント

FUJIFILM DIGITAL IMAGING SERVICE FDi

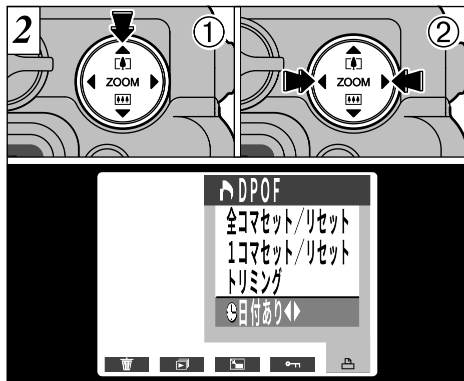
デジタルカメラプリントサービス（FDiサービス）取り扱い店

- DPOF対応デジタルカメラ（本機）では上記の情報をカメラの操作でスマートメディア™に記録することができます。
- DPOF情報を記録したスマートメディア™を、フジフイルム デジタルカメラプリントサービス（FDiサービス）取り扱い店にお持ちいただくだけで、プリント予約情報どおりの高画質プリントサービスが受けられます。
- DPOF対応プリンターでは、プリント予約情報があれば、指定コマ（画像ファイル）を指定枚数だけ自動的にプリントできます。

DPOF 日付設定



プリントに撮影した日付を入れるか入れないかを選べる機能です。
①モードレバーを“ ▶ ”(再生) に合わせます。
②“ メニュー/実行 ”ボタンを押して、液晶モニターにメニューを表示させます。
③“ ◀▶ ”を押して“ DPOF ”を選びます。



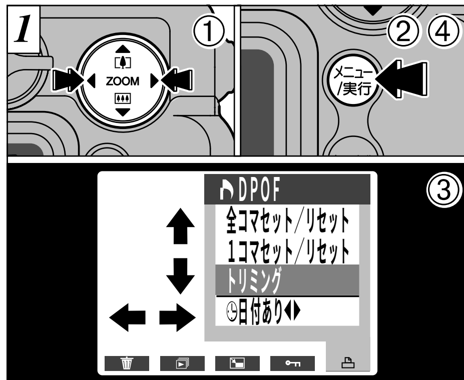
①“ ▼ ”で“ 日付 ”を選びます。
②“ ◀▶ ”を押すと“ 日付あり ”が“ 日付なし ”が設定できます。その後、設定を変更するまですべてに有効です。

4

動画はDPOF設定できません。

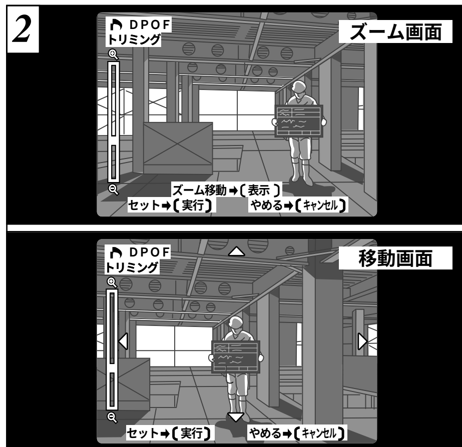
他の設定の前に必ず日付あり/なしの設定を行ってください。

再生メニュー ⎙ DPOF トリミング



①"◀▶"でトリミングしたい画像を液晶モニターに表示します。
②"メニュー/実行"ボタンを押して、メニューを表示します。
③"◀▶"、"▲▼"で"トリミング"を選択します。
④"メニュー/実行"ボタンを押します。

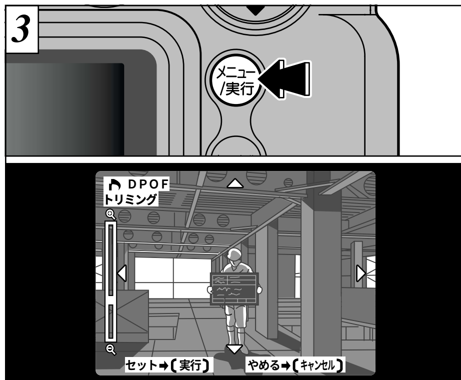
❗ 2400×1800・1600×1200・1280×960ピクセルの画像のみトリミング設定できます。それ以外の画像を再生している場合は、"トリミング"が選べません。



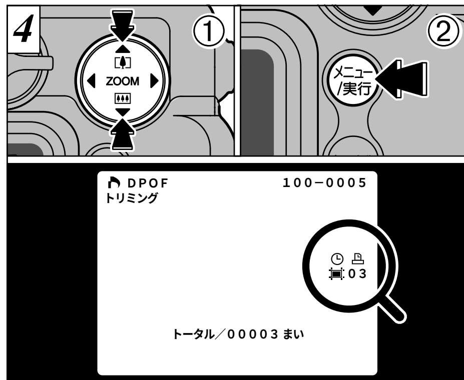
"表示"を押すと、ズーム画面と移動画面を交互に表示できます。

ズーム画面での操作："▲▼"でズームします。
移動画面での操作　："▲▼"、"◀▶"を押すと、トリミングする範囲を移動できます。

❗トリミングは640×480ピクセルより小さくできません。



“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと、液晶モニターに見えている状態でトリミング設定が決定されます。

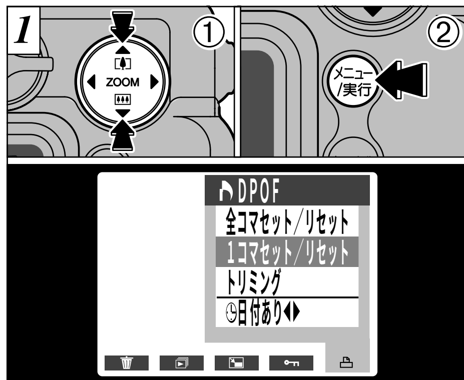


①“ ▲▼ ”でプリント枚数を指定します。
②“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと、設定が決定されメニューに戻ります。

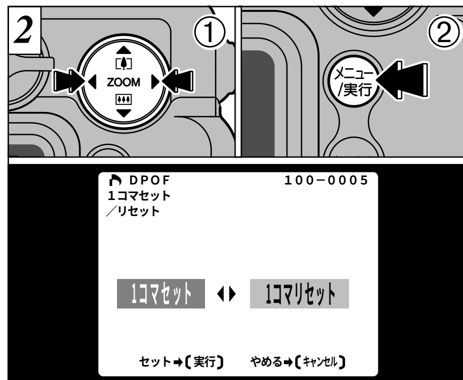
液晶モニターに以下のアイコンが表示されます。
●トリミング設定が確定したコマ：“ ▣ ”
●日付ありが確定したコマ：“ ◷ ”
●プリント枚数を指示したコマ：
“ 凸 ”とプリント枚数

4

再生メニュー DPOF 1コマセット/リセット



①" ▲▼ "で" 1コマセット "を選びます。
②" メニュー/実行 "ボタンを押します。

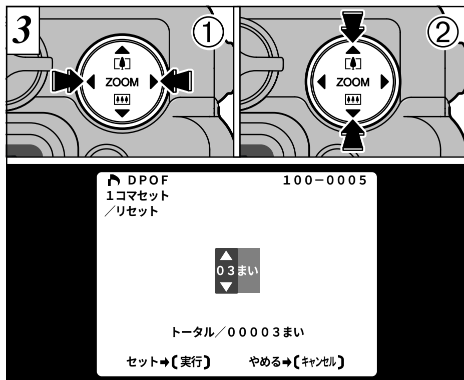


①" ◀▶ "で" 1コマセット "か" 1コマリセット "を選びます。
②" メニュー/実行 "ボタンを押します。

- 1コマセットを行う前に、必ず日付あり/なしをセットしてください。
- 1コマセット・トリミング設定のあとに全コマセットを行うと、1コマセットでセットしたコマ数とトリミング設定は解除されます。

- 画像を選ぶときはマルチ再生（➡34ページ）すると便利です。ただし" ▲▼ "で画像を選べません。

1コマセットを選んだ場合は *3* から、1コマリセットを選んだ場合は *6* から操作してください。

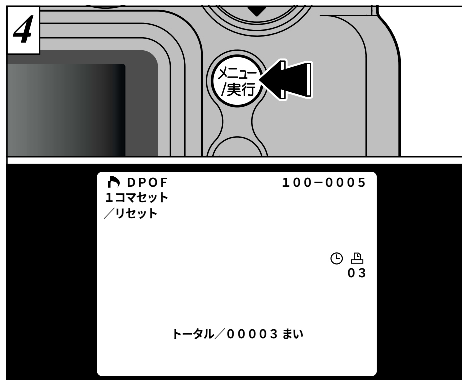


1コマセットする場合

①“ ◀▶ ”を押してセットするコマを表示させます。
②“ ▲▼ ”でプリント枚数を指定します。

“ ◀▶ ”でコマを送ると、自動的に設定が決定されます。

1コマセットを続けるには、①②の操作を繰り返します。



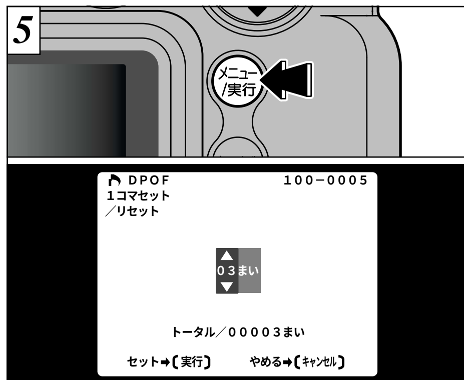
〈実行する場合〉

設定が終わったら、必ず“ メニュー/実行 ”ボタンを押して決定してください。液晶モニターにトータル枚数が表示され、メニューに戻ります。確定したコマには“ 凸とプリント枚数 ”、日付ありの場合は“ ◷ ”が表示されます。

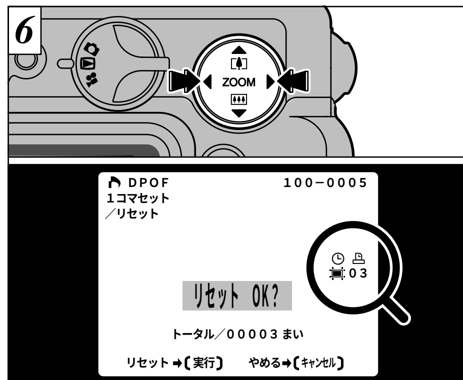
指定できるプリント枚数は1コマにつき99枚までです。また、同一スマートメディア内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。

“ トータル ”は指定したプリント枚数の合計です。

4



〈キャンセルする場合〉
"キャンセル"ボタンを押すと、選択中のコマの設定のみキャンセルされます。選択中のコマ以外の設定はキャンセルされません。



1コマリセットする場合

"◀▶"を押すと、プリント枚数設定をしたコマだけを確認できます。各コマの設定は画面の右端に表示されます。

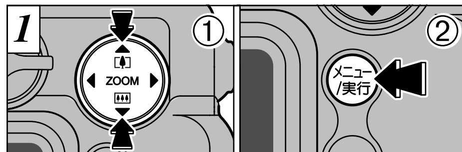
- 画像を選ぶときはマルチ再生（➡34ページ）すると便利です。
- 1コマリセットをやめたい場合は"キャンセル"ボタンを押し、メニューに戻ります。メニューを終了するには、もう一度"キャンセル"ボタンを押してください。



プリント設定をリセットするには、リセットしたい画像を表示し" メニュー/実行 "ボタンを押します。
プリント設定のリセットが終わるとプリント設定された次の画面が再生され" リセット OK? "が表示されます。

すべてのプリント設定が解除されている場合" トータル "は" 00000まい "になり、背景が黒い画面になります。

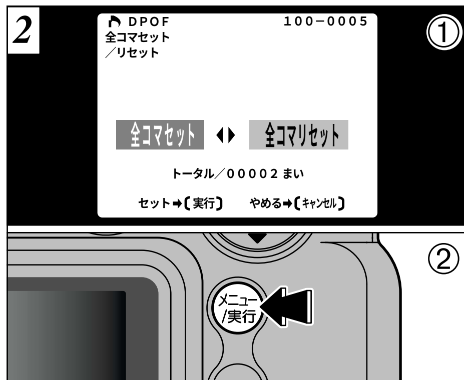
1コマリセットを続けるには、6からの操作を繰り返します。

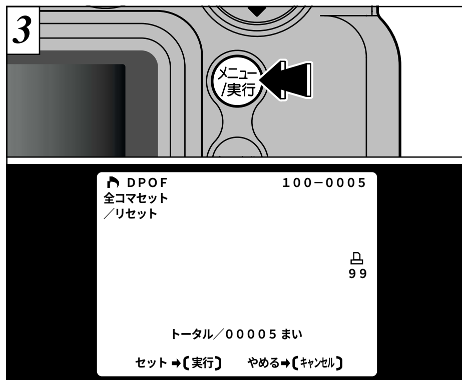




①" ▲▼ "で" 全コマセット/リセット "を選びます。
②" メニュー/実行 "ボタンを押します。

4





①“ ◀▶ ”で“ 全コマセット ”“ 全コマリセット ”を選びます。

②“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

❗“ 全コマセット ”は、すべての画像を1枚ずつプリントするのを指定します。

❗1コマセットでの指定とトリミング指定は解除されます。

❗同一スマートメディア内でプリント指定できるコマ数は、999コマまでです。1000コマ以上の指定をすると“ DPOF FILE ERROR ”警告が表示されます。

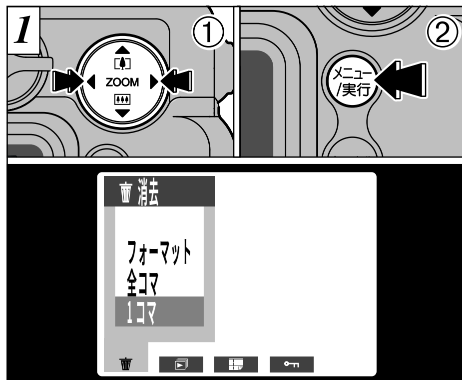
“ メニュー/実行 ”ボタンを押して実行します。液晶モニターにトータル枚数が表示され、その後メニューに戻ります。

❗“ トータル ”は指定したプリント枚数の合計です。

❗全コマリセットした場合“ トータル ”は“ 00000まい ”になります。

再生メニュー  インデックス作成

インデックス作成は、動画（ムービー）ファイルを選択しているときのみ設定できます。
動画を再生しなくても内容がわかるインデックス画像を作成します。
動画ファイルから25コマの画像を等間隔で抜き出して、1つの画像（2400×1800ピクセル）に並べて保存する機能です。

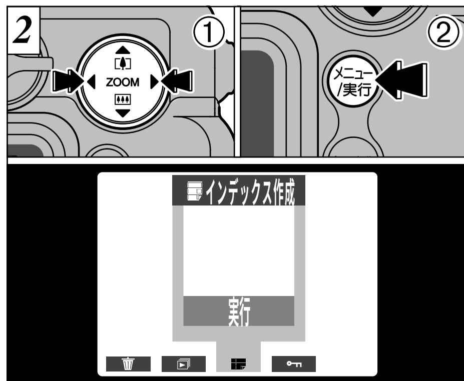


①“ ◀▶ ”で動画ファイルを選びます。
②“ メニュー/実行 ”ボタンを押してメニューを表示します。

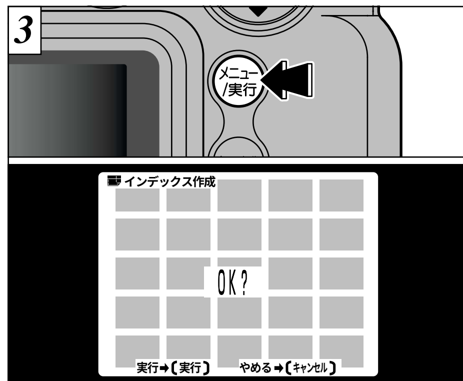
4

動画の記録時間によって、自動的に抜き出される画像の間隔は異なります。

インデックス作成



①"◀▶"で"インデックス作成"を選びます。
②"メニュー/実行"ボタンを押します。



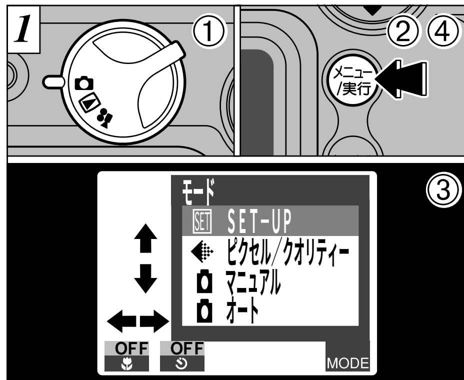
インデックスのプレビュー画面が表示されます。記録する場合は"メニュー/実行"ボタンを押します。

! 記録しない場合は"キャンセル"ボタンを押しメニューに戻ります。メニューを終了するにはもう一度"キャンセル"ボタンを押してください。

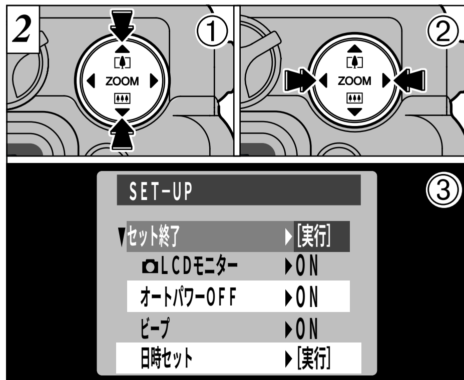
SET－UP（セットアップ）

項目名	表　　示	工場出荷時	内　　容
セット終了	実行	―	設定を決定し、セットアップを終了します。
LCDモニター	ON/OFF	ON	モードレバーを“　”にしたときに、液晶モニターを自動的にONにするかOFFにするかを切り換えます。
オートパワーOFF	ON/OFF	ON	何も操作していないときに、約2分後に電源を自動的に切るかどうか設定できます。ただし、オートプレイ時とUSB接続時はオートパワーオフしません（➡89ページ）。
ビープ	ON/OFF	ON	操作したときの“ピッ”音のON/OFFを切り換えます。
日時セット	実行	―	日付、時刻を設定できます。詳しくは、17ページをご参照ください。
コマNO.メモリー	ON/OFF	OFF	コマNO.メモリー機能を使用するかしないかを切り換えます。詳しくは、79ページをご参照ください。

SET－UP（セットアップ）



①モードレバーを“ 📷 ”(静止画)に合わせます。
②“ メニュー/実行 ”ボタンを押して液晶モニターにメニューを表示します。
③“ ◀▶ ”で“ MODE ”を選択し、“ ▲▼ ”で“ SET SET－UP ”を選択します。
④“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。



①“ ▲▼ ”を押して項目を選択します。
②“ ◀▶ ”で設定を変更できます。
③設定を変更し終わったら“ SET－UP ”メニューの“ セット終了 ”を選択して“ メニュー/実行 ”ボタンを押し撮影画面に戻ります。

❗“ 日時セット ”は“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。詳しくは17ページをご参照ください。

コマNO.メモリー設定

	<OFF>	<ON>
A	0001 : 0005	0001 : 0005
↓		
B	0001 : 0005	0006 : 0010

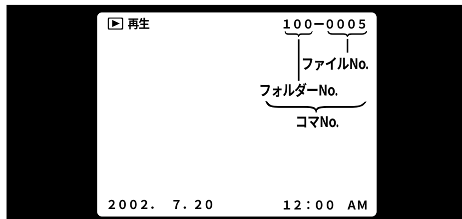
A、Bともにフォーマットされたスマートメディアを使用した場合

OFF：スマートメディアごとに「ファイルNo.0001」から撮影

ON ：最後に使用したスマートメディアの「最終ファイルNo.」から続けて撮影

“ ON ”にすると、パソコンなどに画像を取り込んだときにファイル名が重複しないので、ファイルの管理に便利です。

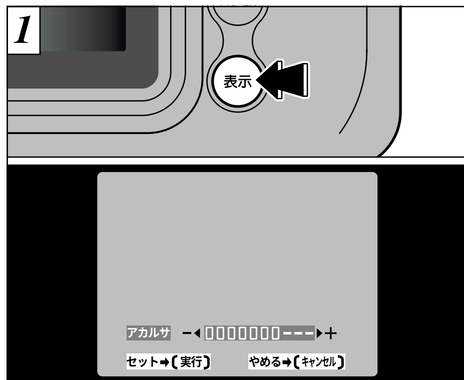
記憶した「最終ファイルNo.」より、大きいファイルNo.の画像がスマートメディアにあった場合、大きいファイルNo.の続きから撮影されます。



画像を再生するとファイルNo.を確認できます。画面の右上の7けたの数字のうち下4けたがファイルNo.で、上3けたはフォルダーNo.です。

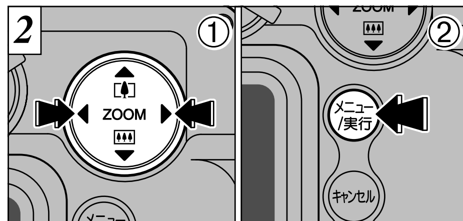
- スマートメディアを交換するときは、必ず電源を切ってから電池カバーを開けてください。電源を切らずに電池カバーを開けると、コマNO.メモリーが機能しません。
- ファイルNo.は0001から9999までで、それを超えるとフォルダーNo.が1つ繰り上がります。最大で999−9999までカウントされます。
- コマNO.メモリーを“ OFF ”にすると、記憶した「最終ファイルNo.」がリセットされます。
- 他のカメラで撮影した画像は、コマNo.表示が異なる場合があります。

液晶モニターの明るさ調節



“ 表示 ”ボタンを2秒以上押し続けると“ 調節バー ”が表示されます。

●明るさ調節
モードレバーが“ 📷 ”(静止画)、“ ▶ ”(再生)のどちらでも調節できます。



①“ ◀▶ ”を押して液晶モニターの明るさを調節します。
②“ メニュー/実行 ”ボタンを押して決定します。

❗動画の再生中は再生が一時停止します。
❗液晶モニターがOFFのままでは設定を変更できません。
❗設定を変更しない場合は、“ キャンセル ”ボタンを押してください。

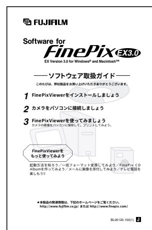
PC（パソコン）接続編では

PC接続編では、USB接続で利用できる機能の概要と接続方法を説明します。あわせて別冊のソフトウェア取扱ガイドをご覧ください。

カメラをパソコンに初めて接続する際は

接続する前に、ソフトウェアをすべてインストールしておく必要があります。
あわせてソフトウェア取扱ガイドをご覧ください。



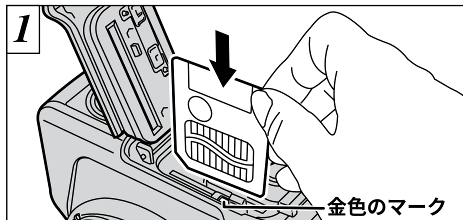


CD-ROM
「Software for FinePix EX」 ソフトウェア取扱ガイド

カードリーダー機能について

スマートメディアから簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USBインターフェース接続により、高速にファイル転送が行えます（➡82ページ）。

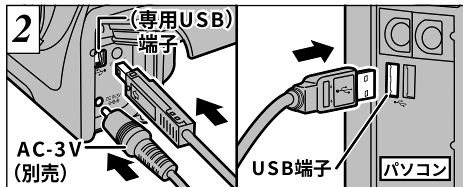
カードリーダー接続方法



撮影したスマートメディアをカメラにセットします。

● 端子カバーの防水パッキンやその周りに水滴や異物（砂やゴミ、頭髪など）が付着していると防水効果が損なわれる場合があります。
水滴や異物を乾いた柔らかい布等で取り除いてから電池カバーを閉めてください。

● ACパワーアダプターAC-3V（別売）を使った接続をおすすめします（➡19、87ページ）。ファイル通信中に電源が切れると、正常なファイルの転送ができません。



①パソコンの電源を入れます。
②専用USBケーブルでカメラとパソコンを接続します。
③カメラの電源を入れます。

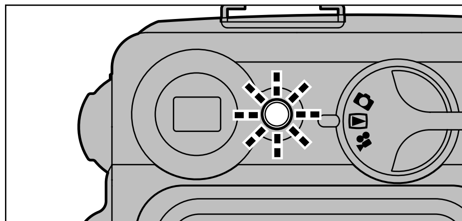
Windowsパソコンをお使いの場合、インストールが完了していると、ドライバの設定が自動的に行われますので、そのままお待ちください。
＊パソコンがカメラを認識しない場合は、別冊のソフトウェア取扱ガイドをご参照ください。

カメラを取り外すとき、電源を切るときは、必ず所定の手順で行ってください（➡84ページ）。

● Windows XPおよびMac OS Xでは、初回接続時に自動起動の設定が必要です（➡別冊のソフトウェア取扱ガイド）。

● 専用USBケーブルは向きに気をつけて、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。

カメラの動作



- カメラとパソコンが通信中のときは、ファインダーランプが、緑/橙に交互点滅します。
- 液晶モニターには“⇔•USB”と表示されます。
- USB接続時はオートパワーオフしません。

! スマートメディアの交換は、必ず84ページの手順で、カメラとパソコンの接続を切った後に行ってください。

! 通信中はUSBケーブルを取り外さないでください。取り外しかたについては、84ページをご参照ください。

パソコンの動作

- FinePixViewerが自動的に起動します。



＊Windows 98 SEの画面です。

- リムーバブルアイコンが表示され、パソコンでファイルの読み出し、書き込みができます。

Windows



リムーバブル ディスク

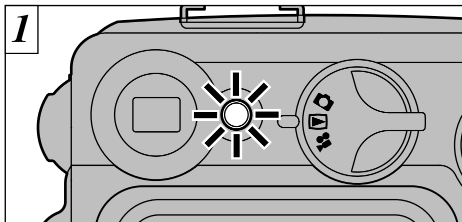
Macintosh



名称未設定

上記の動作が確認できない場合は、必要なソフトウェアがうまくインストールできていません。別冊のソフトウェア取扱ガイドを参照し、パソコンでの準備を完了してから、もう一度接続してください。

パソコンと接続を切るには（必ず行ってください）



①カメラを利用しているアプリケーション（FinePixViewer、VideoImpressionなど）をすべて終了します。
②ファインダーランプが緑色に点灯していること（パソコンと通信していないこと）を確認します。

パソコンで“コピー中”の表示が消えても、カメラと通信中の場合があります。必ずカメラのファインダーランプが緑色に点灯していることを確認してください。

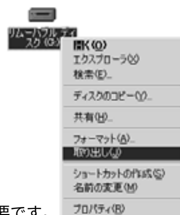
2 カメラの電源を切る前の作業を行います。この手順は、ご使用のOS（パソコン）によって違います。

Windows 98/98 SE

パソコンでの操作は必要ありません。

Windows Me/2000 Professional/XP

①マイコンピュータの中の“リムーバブルディスク”アイコンを右クリックし、“取り出し”をクリックします。



＊この操作はWindows Meのみ必要です。

②タスクバー上の‘取り出し’アイコンを左クリックします。



＊Windows Meの画面です。

③下図のメニューが表示されますので、もう一度クリックします。

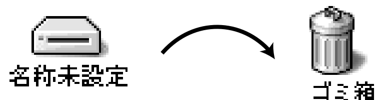
USB ディスク - ドライブ (G:) の停止

＊Windows Meの画面です。

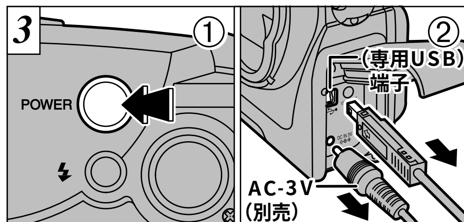
④“ ハードウェアの取り外し ”ダイアログが表示されますので、“ OK ”ボタンが“ クローズ ”ボタンをクリックしてください。

Macintosh

デスクトップの“ リムーバブルドライブ ”アイコンを、ゴミ箱にドラッグ&ドロップします。



❗ゴミ箱にドラッグ＆ドロップすると、カメラの液晶モニターに“ REMOVE OK ”と表示されます。

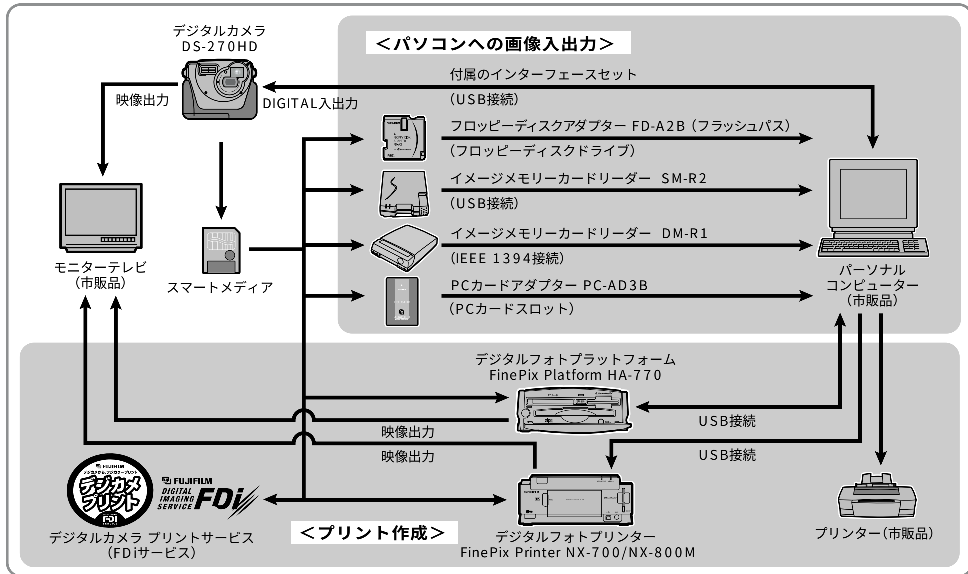


①カメラの電源を切ります。
②カメラから専用USBケーブルを取り外します。

6

システムアップ機器（別売）（平成14年2月現在）

▶別売のフジフイルム製品と組み合わせることにより、様々な用途向けにシステムアップすることができます。



その他 別売アクセサリーの紹介（平成14年2月現在）

▶使いかたについては、お使いになるアクセサリーの「使用説明書」をご覧ください。

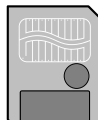
※価格はメーカー希望小売価格、消費税別です。

●イメージメモリーカード（スマートメディア™）

以下の種類がお使いいただけます。

- MG-4SB ： 4MB、3.3V仕様
- MG-8SB ： 8MB、3.3V仕様
- MG-16SB：16MB、3.3V仕様
- MG-32SB：32MB、3.3V仕様
- MG-16SW ： 16MB、3.3V仕様（ID付き）
- MG-32SW ： 32MB、3.3V仕様（ID付き）
- MG-64SW ： 64MB、3.3V仕様（ID付き）
- MG-128SW：128MB、3.3V仕様（ID付き）

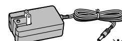
＊3.3V仕様品の中には「3V」という表示のものがあります。



※すべてオープン価格

●ACパワーアダプター AC-3V

長時間の撮影・再生時、パソコンとの接続時にお使いください。

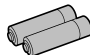


※4,000円

●単3形ニッケル水素電池「ニッケル水素1700」（HR-AA）

高容量の単3形ニッケル水素電池です。

2本パック「型名 HR-AA/2B」をお買い求めください。

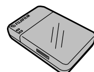


※2本パック HR-AA/2B 1,100円

●ニッケル水素/ニカド急速充電器80（FNH）

ニッケル水素電池「ニッケル水素1700」2本を約90分間で充電できます。

同時に4本までのニッケル水素/ニカド電池の充電が可能です（日本国内使用専用）。

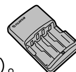


※4,500円

●ニッケル水素/ニカド急速充電器ワールドタイプ スリム（FNW）

ニッケル水素電池「ニッケル水素1700」2本を約115分で充電できます。

同時に4本までのニッケル水素/ニカド電池の充電が可能です（AC100V～240V、50/60Hz対応）。

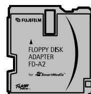


※4,500円

その他 別売アクセサリーの紹介（平成14年2月現在）

●フロッピーディスクアダプター FD-A2B（FlashPath：フラッシュパス）

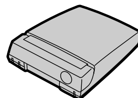
通常の3.5インチのフロッピーディスクと同じ形をしたアダプターです。
スマートメディアをフロッピーディスクアダプターに挿入し、フロッピーディスクドライブからスマートメディアの画像をパソコンに取り込むことができます。
●フロッピーディスクアダプター FD-A2対応OS
Windows 95/98/98 Second Edition/Me（DOS/V機）
Windows 95 4.00.950B OSR2以降/98/98 SE（NEC PC-9821シリーズ）
Mac OS 7.6.1〜9.1/Power Macintosh（読み込みのみ）



※12,000円

●イメージメモリーカードリーダー DM-R1

イメージメモリーカード［スマートメディア、コンパクトフラッシュタイプ Ⅱ（マイクロドライブ対応）］からパソコンに、簡単に画像の読み出し、書き込みができます。
IEEE1394インターフェースにより高速なファイル転送を行います。
●Windows 98 Second Edition、Windows 2000 Professional（読み出し専用）、iMac DV、およびFireWireを標準装備するPower Macintosh、Mac OS 8.5.1〜9.1



※オープン価格

●PCカードアダプター PC-AD3B

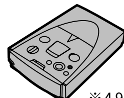
スマートメディアをPC Card Standard ATA（PCMCIA2.1）に準拠したPCカード（TYPE Ⅱ）として使えます。



※10,000円

●デジタルフォトプラットフォームHA-770

スマートメディア、PCカード、Zip 3スロット装備し、デジタルカメラ画像のアルバム編集、再生機能搭載。パソコン*、テレビ、プリンターに対応したマルチインターフェース。
＊パソコン接続はUSBインターフェース（対応OS：Windows 98/98 Second Edition/Windows Me/Windows 2000 Professional、Mac OS 8.5.1〜9.1）



※49,800円

＊最新情報は富士フイルムホームページをご覧ください。 http://www.fujifilm.co.jp/

用語の解説

EV：露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムやCCDなどの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することによりCCDに与える光量を一定にしています。CCDに与えられる光量が2倍になるとEV値は＋1、半分になるとEV値は－1変化します。

Exif（イグジフ）ファイル形式：Exif（イグジフ）は、電子情報技術産業協会（JEITA）にて承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。JPEGやTIFFとの互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。

JPEG（ジェイペグ）：Joint Photographic Experts Groupの略
カラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が選択できますが、圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。

Motion JPEG（モーション ジェイペグ）：画像と音声の両方をひとつのファイルで扱うためのファイルフォーマット AVI（Audio Video Interleave）形式の1種類であり、ファイル内の画像はJPEG形式で記録されています。
パソコンでは下記のソフトで再生できます。
Windows：MediaPlayer　＊DirectX8.0以降必要
Macintosh：QuickTime Player　＊QuickTime3.0以降

オートパワーオフ機能：電池の消耗や、ACパワーアダプター接続時のムダな電力消費を防ぐため、しばらく何も操作しないと自動的に電源をOFFします。本機では2分です。
- セットアップでオートパワーオフを無効にした場合、またはオートプレイ時やUSB接続時は、オートパワーオフしません。

ホワイトバランス：人間の目にはどんな照明のもとでも、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って初めて、白い被写体が白く撮影されます。この調整をホワイトバランスを合わせるといいます。ホワイトバランスを自動的に合わせる機能を**オートホワイトバランス**といいます。

フレア、ゴースト：逆光で撮影すると写真が白っぽくなったり光がにじんだりします。カメラのレンズは何枚かのレンズを組み合わせてひとつのレンズを構成しており、こういったレンズの表面で反射した光が、レンズ内部やカメラ内部で複雑に反射しながら「フレア」を生み出します。フレアの中でも光源とは違った場所にできる光の輪や玉は、「ゴースト」と呼ばれます。

使用上のご注意

▶ご使用の前に、必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。

■避けて欲しい場所
次のような場所での本機の使用および保管は避けてください。

- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ。極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■砂がかからないようにしてください。
砂は本機の大敵です。海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露（つゆつき）にご注意
本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、スマートメディアに水滴がつくことがあります。このようなときはスマートメディアを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは
本機を長時間お使いにならないときは、電池、スマートメディアを取り外して保管してください。

■カメラのお手入れ

- レンズカバーガラス、液晶モニター表面やファインダーなどの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- レンズカバーガラス、液晶モニター表面やファインダーなどは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質・変形したり、塗料がはげるなどの原因となります。

■海外で使うとき

- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因となることがあります。

電源についてのご注意

使用できる電池

- 本機には、単3形ニッケル水素電池を使用してください。単3形マンガン乾電池や単3形リチウム電池は、電池の発熱などにより本機の故障や事故の原因となることがありますので使用できません。
- 単3形アルカリ乾電池は緊急用としてのみお使いください。銘柄により容量の差があり、電池寿命（使用時間）がかなり短い場合があります。また液晶モニターOFFでご使用ください。

電池についてのご注意

電池の使いかたを誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂の恐れがあります。以下の事項をお守りください。

- 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- プラス極とマイナス極を針金などの金属で接続したり、ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
- 変形させたり、分解、改造をしないでください。
- 外装チューブをはがしたり、傷をつけないでください。
- 落としたり､ぶつけたり､大きな衝撃を与えないでください。
- 液もれしている、変形、変色、その他異常に気づいたときは使用しないでください。
- 高温、多湿の場所に保管しないでください。
- 幼児やお子様の手の届く範囲に放置しないでください。
- カメラに電池を入れるときは、極性（⊕と⊖）に注意して表示どおりに入れてください。
- 新しい電池と使用した電池（充電式電池の場合：充電済みの電池と、放電した電池）、あるいは種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間使用しないときは、電池を取り出しておいてください（電池を取り外して放置した場合、各種設定が工場出荷設定に戻ります）。
- 使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 電池を交換するときは、2本すべてを新しい電池にお取り替えください。新しい電池とは、「最近同時にフル充電した電池」のことです。
- 寒冷地（＋10℃以下）では電池の性能が低下し、使用可能時間が極端に短くなります。特にアルカリ乾電池はこの傾向がありますので、電池をポケットの中などで温めてからお使いください。また、カイロをお使いの場合は直接電池に触れないようにご注意ください。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります。電池をセットする前に電極を乾いた柔らかい布で丁寧に清掃してください。



万一、液もれが起こったときは、電池挿入部についた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。



電池の液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また、液が目に入った場合には失明の恐れがあります。こすらずに、きれいな水で洗ったあと、医師の診療を受けてください。

電源についてのご注意

■電池の廃棄について

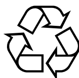
アルカリ乾電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

■小形充電式電池（ニッケル水素電池）についてのご注意

- 単3形ニッケル水素電池の充電は、専用の充電器（付属）または急速充電器（別売）を使用し、正しく行ってください。
- 充電器（付属）または急速充電器（別売）では、指定外の電池を充電しないでください。
- 充電直後の電池は高温になっていることがありますので、ご注意ください。
- ニッケル水素電池は、出荷時には充電されていません。ご使用の前に必ず充電してください。
- カメラの機構上、電源を切っても微小電流が流れています。ニッケル水素電池を長期間カメラに入れたままにすると過放電状態になり、充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。
- ニッケル水素電池は使わなくても自己放電しています。ご使用の前に必ず充電してください。また、正常に充電したにもかかわらず、使用できる時間が著しく短くなったときは、電池の寿命です。新しいものをお買い求めください。
- ニッケル水素電池の電極に、皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります。この場合は、電極を乾いた柔らかい布で丁寧に清掃後、一度使い切ってから充電してください。
- お買上げ時や長い間使用していなかった電池は、十分に充電されないこと（電池残量警告がすぐに表示されて、電池作動可能枚数/時間が少ない場合）があります。これは電池の特性によるもので故障ではありません。充電して使用することを3〜4回繰り返すと十分に充電できるようになり、電池作動可能時間が長くなります。
- ニッケル水素電池の容量が残っている状態で充電を繰り返すと、「メモリー効果」* が発生して早めに電池残量警告が出ることがあります。最後まで使いきってから充電することで正常な状態に戻ります。

  *メモリー効果：電池の容量が見かけ上低下したような特性を示す現象

■小形充電式電池のリサイクルについて



このマークは小形充電式電池（ニッケル水素電池など）のリサイクルマークです。小形充電式電池は埋蔵量の少ない高価な希少資源を使用していますが、これらの金属はリサイクルして再利用できます。

このようにリサイクルすることは、ゴミを減らし、環境を守ることにつながります。ご使用済みの小形充電式電池の廃棄に際しては、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープをはって、小形充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

同梱のバッテリーチャージャーについてのご注意

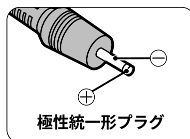
- 充電式電池やバッテリーチャージャーは、内部で電力を消費するため温かくなりますが異常ではありません。できるだけ通気の良いところで使用してください。
- ご使用中、内部で発振音がする場合がありますが、故障ではありません。

- 充電中のバッテリーチャージャーにラジオを近づけると、放送に雑音が入ることがあります。その場合は、バッテリーチャージャーをラジオから離してご使用ください。
- 充電式電池の接続部や接点部に他の金属が触れないようにしてください。ショートすることがあります。
- 次のような場所には、置かないでください。
  暖房器具の近くや直射日光の当たるところなど、温度の高いところ/湿気の多いところ/ほこりの多いところ/振動の激しいところ
- 海外でも使用可能な、入力AC100V〜240V、50/60Hz仕様です。ただし、電源コンセントの形状は、各国・各地で異なりますので国に合ったコンセント変換プラグが必要です。詳しくは、旅行代理店などにご相談ください。

同梱のバッテリーチャージャー(FNW)の主な仕様

定格入力	AC 100V－240V　50/60Hz
入力容量	AC 100V　10VA、AC 240V　16VA
定格出力	DC1.2V　460mA×4/920mA×2
適合電池	FUJIFILM 単3形ニッケル水素 1600 HR-AA FUJIFILM 単3形ニッケル水素 1700 HR-AA
外形寸法	長さ105mm×幅65mm×厚さ26mm (幅×高さ×奥行き)
質量	約90g(電池含まず)
使用周囲温度	0℃〜＋40℃

ACパワーアダプターについてのご注意



極性統一形プラグ

本機には、必ず専用のACパワーアダプター AC-3V(別売、JEITA規格・極性統一形プラグ付き)をお使いください。AC-3V以外のACパワーアダプターをお使いになると本機の故障の原因になることがあります。

- ACパワーアダプターの接点部には、他の金属が触れないようにしてください。ショートする危険があります。
- 電池動作中にACパワーアダプターを差し込まないでください。一度電源を切ってから差し込んでください。
- ACパワーアダプター動作中に電池を入れたり、交換したりしないでください。一度電源を切ってから行ってください。
- 電池がない状態でACパワーアダプターを抜くと、日時がクリアされる場合があります。その場合は、日時をセットし直してください。

スマートメディア™についてのご注意

■スマートメディアについて

デジタルカメラ用に開発された、新しい画像記録媒体SmartMedia（スマートメディア）です。スマートメディアの中には、半導体メモリー（NAND型フラッシュメモリー）が内蔵されており、このメモリーにデジタル化された画像ファイルが記録されます。
記録は電気的に行われますので、一度記録した画像ファイルを消去したり、再び記録することができます。

■ID付きスマートメディアについて

SmartMedia ID（ID付きSmartMedia）は、スマートメディア個々にID（番号）を割り振ったもので、IDを利用した著作権保護、その他の仕組みを持つ機器で使用できます。本機では、従来のスマートメディアと同様に使用できます。

■ファイル保持について

以下の場合、記録したファイルが消滅（破壊）することがあります。記録したファイルの消滅（破壊）については、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

＊お客様または第三者がスマートメディアの使いかたを誤ったとき
＊スマートメディアが静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき
＊スマートメディアに記録動作中・消去（フォーマット）動作中にスマートメディアを取り出したり機器の電源を切ったとき

大切なファイルは別のメディア（MOディスク、フロッピーディスク、ハードディスクなど）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。

■取扱上のご注意

- スマートメディアをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- スマートメディアの記録中・消去（フォーマット）中は、絶対にスマートメディアを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。スマートメディアが破壊されることがあります。
- 指定された以外のスマートメディアはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因となります。
- スマートメディアは精密電子機器です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用・保管は避けてください。
- 高温多湿の場所、または腐食性のある環境下でのご使用・保管は避けてください。
- スマートメディアの接触面（金色の部分）にゴミや異物がつかないように、また触らないようにご注意ください。汚れは乾いた柔らかい布などでふいてください。

●スマートメディアの持ち運びや保管時は、静電気による影響を避けるため、必ず専用の静電気防止ケースに入れてください。また、収納ケースがある場合は収納ケースに入れてください。
●静電気を帯びたスマートメディアをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
●ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
●長時間お使いになったあと、取り出したスマートメディアが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
●スマートメディアには寿命があり、長期間使用するうちに書き込みや消去ができなくなります。このときは新しいものをお買い求めください。
●インデックスエリアには、付属のインデックスラベルをはってください。市販のラベルなどは、はらないでください。スマートメディアの出し入れの際、故障の原因になります。
●インデックスラベルは、ライトプロテクトエリアにかからないように、はってください。
●万一、弊社の製造上の原因による初期品質不良がありました場合には、同数の新しいスマートメディアとお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

■スマートメディアをパソコンで使用する場合のご注意

●パソコンで使用したあとのスマートメディアを使って撮影する場合、スマートメディアのフォーマットはカメラで行ってください。
●スマートメディアをカメラでフォーマットして撮影・記録すると、自動的にフォルダーが作成されます。画像ファイルは、このフォルダー内に記録されます。
●パソコンでスマートメディアのフォルダー名、ファイル名の変更・消去などの操作を行わないでください。スマートメディアがカメラで使用できなくなることがあります。
●スマートメディア上の画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
●画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーし、コピーした画像ファイルを編集してください。

主な仕様

形　式	デジタルカメラ用イメージメモリーカード SmartMedia（スマートメディア）
動作電圧	3.3V
使用条件	温度 0℃～＋40℃ 湿度 80%以下（結露しないこと）
外形寸法	37mm×45mm×0.76mm（幅/高さ/厚み）

警告表示

▶液晶モニターに表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処　　置
(電池マーク)	カメラの電池の容量が少ない。	電池を交換するか、充電してください。
!NO CARD	スマートメディアが入っていない、または5V仕様のスマートメディアが入っている。	スマートメディア（3.3V仕様）をセットしてください。
!CARD NOT INITIALIZED	●スマートメディアがフォーマット（初期化）されていない。 ●スマートメディアの接触面（金色の部分）が汚れている。 ●カメラが故障している。	●スマートメディアの接触面を、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでもエラーの場合はスマートメディアを交換してください。 ●弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
!CARD ERROR	●スマートメディアの接触面（金色の部分）が汚れている。 ●スマートメディアが壊れている。 ●スマートメディアのフォーマットが異常。 ●カメラが故障している。	●スマートメディアの接触面を、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでもエラーの場合はスマートメディアを交換してください。 ●弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
!CARD FULL	スマートメディアに空き容量がなく、これ以上記録できない。	画像を消去するか、空き容量のあるスマートメディアを使用してください。

警告表示	警告内容	処　　置
!PROTECTED CARD	スマートメディアが誤記録防止状態になっている。	誤記録防止状態になっていないスマートメディアを使用してください。
!READ ERROR	●正常に記録されていないファイルを再生した。 ●スマートメディアの接触面（金色の部分）が汚れている。 ●記録時間が80秒を超える動画を再生しようとした。	●再生することはできません。 ●スマートメディアの接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。 ●80秒以上の動画は再生できません。
!FILE NO. FULL	コマNo.が999―9999に達している。	コマNO.メモリー機能をOFFにして、フォーマットしたスマートメディアに撮影してください。
(手ブレ警告マーク)	シャッター速度が遅く、手ブレを発生しやすい状態。	三脚を使用するか、ストロボをオート・強制発光・赤目軽減にセットしてください。
!PROTECT	プロテクトされているコマを消去しようとした。	プロテクトをリセットしてください。
! AF	AF（オートフォーカス）がうまく働かない。	●暗い場合は被写体から1.5m以上離れて撮影してください。 ●AFロック撮影をしてください。
! AE	AE連動範囲外。	撮影できますが、適正露出ではありません。

警告表示

警告表示	警告内容	処　　置
DPOFセットされています消去しますか？	消去しようとした画像はDPOFプリント指定されている。	画像を消去すると、DPOF指定項目からも同時に設定が削除されます。
DPOFファイル再セットOK？	DPOFファイルにエラーがある。または、他の機器で設定したDPOFファイルになっている。	DPOFファイルを新しく作成し、DPOF設定をすべてやり直す場合は“メニュー/実行”ボタンを押してください。
!DPOF FILE ERROR	DPOFのコマ設定で1000コマ以上のプリント指定をした。	同一スマートメディア内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。

故障とお考えになる前に

▶故障と思う前にもう一度お調べください。処置を行っても改善されない場合は、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

症　　状	原　　因	処　　置
電源が入らない。	●電池が消耗している。 ●ACパワーアダプターの電源プラグがコンセントから外れている。	●充電済みの電池と交換する。 ●電源プラグをコンセントに差し込む。
電源が途中で切れる。	●電池が消耗している。 ●端子が汚れている。	●充電済みの電池と交換する。 ●電池の端子部分を乾いたきれいな布でふいて充電する。
電池の消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使っている。 ●端子が汚れている。 ●電池の寿命。 ●アルカリ乾電池を使っている。	●電池をポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付ける。 ●電池の端子部分を乾いたきれいな布でふいて充電する。 ●充電済みの新しい電池と交換する。 ●ニッケル水素電池を使用する。
シャッターボタンを押しても撮影できない。	●スマートメディアが入っていない。 ●スマートメディアに空き容量がなく、これ以上記録できない。 ●スマートメディアが誤記録防止状態になっている。 ●スマートメディアがフォーマットされていない。 ●スマートメディアの接触面（金色の部分）が汚れている。 ●スマートメディアが壊れている。	●スマートメディアを入れる。 ●新しいスマートメディアを入れるか、不要なコマを消去する。 ●誤記録防止状態を解除する。 ●フォーマットする。 ●スマートメディアの接触面を乾いたきれいな布でふく。 ●新しいスマートメディアを入れる。

故障とお考えになる前に

症　　状	原　　因	処　　置
シャッターボタンを押しても撮影できない。	●オートパワーオフになり、電源が切れた。 ●電池が消耗している。	●電源を入れる。 ●充電済みの電池と交換する。
ストロボ撮影ができない。	●モードレバーの設定位置がずれている。 ●ストロボ発光禁止になっている。 ●ストロボ充電中にシャッターボタンを押した。	●モードレバーを正しい位置に設定する。 ●ストロボをオート、赤目軽減または強制発光にする。 ●充電が完了してからシャッターボタンを押す。
ストロボの充電ができない。	●記録できるスマートメディアが入っていない。 ●ストロボ発光禁止になっている。 ●電池が消耗している。	●新しいスマートメディアを入れる、コマを消去する、誤記録防止状態を解除する。 ●ストロボをオート、赤目軽減または強制発光にする。 ●充電済みの電池と交換する。
ストロボが発光したのに再生画面が暗い。	●被写体が遠い。 ●ストロボに指がかかっている。	●被写体に近づく。 ●カメラを正しく構える。
画像がぼやけている。	●レンズカバーガラスが汚れている。 ●マクロで遠景を撮影した。 ●レンズ部が結露している。	●レンズカバーガラスを清掃する。 ●マクロを解除する。 ●水滴・曇りがなくなるまで待つ。
画像に点状のノイズがある。	●気温が高い環境でスローシャッター（長時間露光）撮影した。	●CCDの特性によるもので故障ではありません。

症　　状	原　　因	処　　置
画像に白い斑点が記録される。	●塵や埃の多い環境でストロボ撮影を行った際のストロボの反射。	ー
スマートメディアのフォーマットができない。	●スマートメディアが誤記録防止状態になっている。	●誤記録防止状態を解除する（ライトプロテクトシールをはがす）。
全コマの消去ですべてのコマが消せない。	●コマがプロテクトされている。	●プロテクトをリセットする。
カメラのモードレバーを操作しても作動しない。	●カメラの誤作動。 ●モードダイヤルの設定位置がずれている。 ●電池が消耗している。	●電源（電池）をいったん取り外して、再び取り付け直してから操作する。 ●モードダイヤルを正しい位置に設定する。 ●充電済みの電池と交換する。
“表示”ボタンを操作しても液晶モニターに画像が表示されない。	●モードダイヤルの設定位置がずれている。	●モードレバーを正しい位置に設定する。
テレビに画像が出ない。	●カメラとテレビの接続が間違っている。 ●テレビの入力が「テレビ」になっている。	●正しく接続する。 ●テレビの入力を「ビデオ」にする。

主な仕様

システム

- **型式：**デジタルカメラ
- **記録メディア：**スマートメディア（3.3V仕様）
- **記録方式**
  静止画：DCF準拠(Exif Ver.2.1 JPEG準拠)/ DPOF対応
  動　画：DCF準拠(AVI形式 Motion JPEG)
- **有効画素数：**220万画素
- **記録画素数（ピクセル）**
  2400×1800/1600×1200/1280×960/640×480
- **撮像素子**
  1/1.7型スーパーCCDハニカム
  原色フィルター採用(総画素数:ハニカム配列の240万画素)
- **撮像感度：**ISO 200相当
- **レンズ：**スーパーEBC フジノンレンズ
- **焦点距離：**6.2mm（35mmカメラ換算：28mm）
- **ファインダー：**実像式光学ファインダー
- **露出制御：**TTL64分割測光、プログラムAE（マニュアル撮影モード時、露出補正可能）
- **ホワイトバランス**
  オート(マニュアル撮影モード時、7ポジション選択可能)
- **撮影可能範囲**
  標　準：約50cm～無限遠
  マクロ：約10cm～50cm
- **電子シャッター**
  可変速　1/4秒～1/1000秒(メカニカルシャッター併用)
- **絞り：**F2.8/F9.8自動切り換え
- **セルフタイマー：**タイマー時間約10秒
- **消去方式**
  1コマ消去・全コマ消去・フォーマット(初期化)

■スマートメディア標準撮影枚数/記録時間

撮影枚数は被写体により多少の増減があります。かつ、撮影枚数はスマートメディアの容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります（＊スマートメディアをフォーマットした状態の撮影可能枚数または記録時間です）。

ピクセル	2400×1800			1600×1200		1280×960		640×480	ムービー
クオリティー	FINE	NORMAL	BASIC	FINE	NORMAL	FINE	NORMAL	NORMAL	——
画像1枚のファイルサイズ	1700KB	1070KB	330KB	770KB	490KB	620KB	320KB	130KB	——
MG-4S（4MB）	2	3	11	4	7	6	12	30	約22秒
MG-8S（8MB）	4	7	23	10	16	12	24	61	約45秒
MG-16S（16MB）	9	14	47	20	31	25	49	123	約90秒
MG-32S（32MB）	18	29	94	41	64	50	99	248	約182秒
MG-64S（64MB）	36	59	189	82	128	101	198	497	約364秒
MG-128S（128MB）	74	118	379	166	257	204	398	997	約732秒

● **液晶モニター：**1.8型　11万画素　D-TFD
● **ストロボ**
調光センサーによるオートストロボ
撮影可能距離：約0.4m〜5.0m
発光モード：オート/赤目軽減/強制発光/発光禁止/
スローシンクロ

入・出力端子

● **VIDEO OUT（映像出力）端子**
ミニミニ（φ2.5mm）ジャック
● **（専用USB）端子：**パソコンへのファイルの転送
● **DC IN 3V端子：**専用ACパワーアダプター AC-3V接続

電源部、その他

● **電源**
単3形ニッケル水素電池2本使用（付属）
専用ACパワーアダプター AC-3V使用（別売）
● **アクセサリーシュー：**外部ストロボの取り付け用など

● **電池作動可能枚数（充電池をフル充電した場合）**

電池の種類	液晶モニターON状態	液晶モニターOFF状態
ニッケル水素電池 HR-AA「ニッケル水素1700」	約80枚	約230枚

常温でストロボ使用率50%の場合の、連続して撮影できる枚数のめやすです。ただし、カメラの使用環境温度やバッテリー充電量のバラツキによる変動があります。

● **使用条件**
温度0℃〜＋40℃　湿度80%以下（結露しないこと）
● **本体外形寸法**
107mm×86.5mm×51.2mm（幅/高さ/奥行き）
＊付属品、突起部含まず
● **本体質量**
約340g（付属品、ニッケル水素電池、スマートメディア含まず）
● **撮影時質量**
約395g（ニッケル水素電池、スマートメディア含む）
● **付属品：**6ページをご覧ください。
● **別売アクセサリー：**87〜88ページをご覧ください。

＊仕様・性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
＊液晶モニターは非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや、常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買上げ日より1年間です。この期間は保証書の記載内容に基づいて無償修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

アフターサービス

■調子が悪いときはまずチェックを

本書の「故障とお考えになる前に」をご覧ください。
使いかたの問題か、故障か迷うときは、弊社DIサポートセンターへお問い合わせください。

■故障と思われるときは

弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。送付方法は、下記の中からお客様のご都合によりお選びください。
①お買上げ店にお持ちいただく
②弊社サービスステーションに宅配便等で送付いただく（送付修理）
③弊社サービスステーションにお持ちいただく（持込修理）
なお、集配ルートの都合上、①の方法よりは、②もしくは③の方法が、お預かりの期間は短くなります。
上記①③の場合の交通費、②の場合の送料などの諸費用はお客様にてご負担願います。

■修理ご依頼に際してのご注意

- 保証規定による修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。同梱の充電器についてはカメラ本体の保証書をご使用ください。なお、お買上げ店または弊社サービスステーションにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。
- 修理品の持込修理/送付修理を弊社サービスステーションに依頼される場合には、次ページ「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理箇所のご指定のないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
- 修理料金のお見積もりをご希望の場合は、「修理依頼票」の「お見積もり」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理をすすめさせていただきます。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合は、修理をお断りする場合があります。

■修理部品の保有期間

本機の補修用部品は、製造打ち切り後8年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

■交換した部品について

交換した部品は、今後の品質向上に役立てるため、弊社にて引き取らせていただいております。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

■修理料金の支払い方法について

①お買上げ店にお持ちいただいた場合
　お持ちいただいたお店にご確認ください。
②弊社サービスステーションに宅配便等で送付いただいた場合（送付修理）
　修理完了品は代金引換となりますので、運送業者に直接お支払いください。
③弊社サービスステーションにお持ちいただいた場合（持込修理）
　修理完了品お引き取りの際、サービスステーション窓口でお支払いください。

◆防水パッキンの交換時期の目安◆

- 防水パッキンに傷やひび割れがあるとき
- 防水パッキンの変色や変形が現われたとき（使いかたによって交換時期に差異がありますが、約1年を目安にし、お買上げ店またはお近くの弊社サービスステーションに依頼してください）。

＊防水パッキンの交換は有償となります。

BIGJOB DS-270HD 修理依頼票

※弊社サービスステーションに故障品の送付あるいはお持込みの際には、お手数をおかけして申し訳ありませんが、迅速・適切な修理をするために必要事項をご記入の上、製品に添付してください。
※下表の□は、該当する項目にチェック(✓)を入れてください。

フリガナ		電話番号	
お名前		ファックス番号	
ご住所	〒　　　－		

修理品への添付

□保証書　□スマートメディア（　　MB）　□電池
□（　　　）　□（　　　）
□（　　　）　□（　　　）

故障内容（故障時の様子や発生頻度、症状など具体的にご記入ください。）

お見積もり	□必要（修理金額　　　円以上見積もり）　□不要
お見積もり連絡方法	□電話　□ファックス

※本紙はコピーしてお使いください。200%に拡大すると、約A4サイズになります。

■修理の受付は…

以下に送付修理・持込修理の受付場所を記載します。
修理品をお買上げ店へお持ちいただく場合よりもお預かりの期間は短くなります。

●【送付修理】：サービスステーションに直接ご送付いただく場合

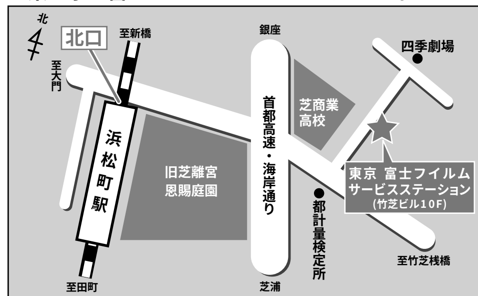
- 下記の7カ所のサービスステーションで受け付けております。送付時には、お手数ですが「修理依頼票」を添付してください。
- 有償修理の場合の修理料金は代金引換となりますので、運送業者に直接お支払いください。

東　京	富士フイルムサービスステーション	〒105-0022	東京都港区海岸1-9-15 竹芝ビル	TEL（03）3436-1315
札　幌	富士フイルムサービスステーション	〒060-0002	札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館	TEL（011）222-3973
仙　台	富士フイルムサービスステーション	〒980-0811	仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL（022）265-2149
名古屋	富士フイルムサービスステーション	〒460-0008	名古屋市中区栄1-12-19	TEL（052）202-1851
大　阪	富士フイルムサービスステーション	〒541-0051	大阪市中央区備後町3-2-8 大阪長谷ビル	TEL（06）6260-0915
広　島	富士フイルムサービスステーション	〒732-0816	広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター	TEL（082）256-3511
福　岡	富士フイルムサービスステーション	〒812-0018	福岡市博多区住吉3-1-1	TEL（092）281-4863

●【持込修理】：サービスステーションにお持ちいただく場合

- 全国のサービスステーションで受け付けております。お持ちいただく際には、お手数ですが「修理依頼票」を添付してください。
- 【受付時間】月～金　午前9：00～12：00　午後1：00～5：40
- サービスステーションは、土・日・祝日・年末年始は休業させていただきます。その他夏期など休業させていただく場合があります。
- 有償修理の場合の修理料金は、修理品お引き取りの際、サービスステーション窓口でお支払いください。
- 東京・札幌・仙台・名古屋・大阪・広島・福岡の7カ所のサービスステーション住所は、上記【送付修理】に記載のとおりです。
- 本書に地図の記載がないサービスステーションは、弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/）もしくはFinePixのホームページ（http://www.finepix.com/）をご覧ください。

★東　京：富士フイルムサービスステーション



JR山手線浜松町駅北口下車　徒歩5分

TEL（03）3436-1315

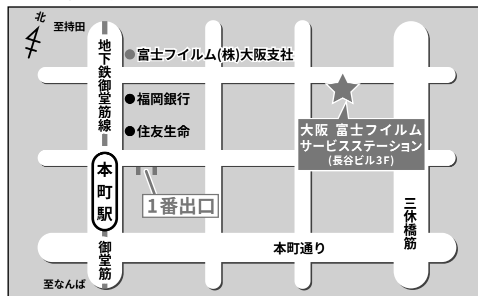
【受付時間】

月～金　午前 9：00～午後 5：40

土　　　午前10：00～12：00　午後1：00～4：00

＊土曜日は修理品の受渡し業務のみ行っております。

★大　阪：富士フイルムサービスステーション

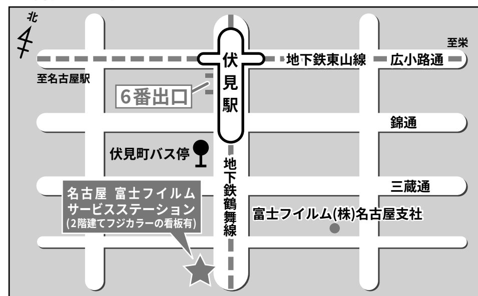


地下鉄御堂筋線本町駅1番出口下車　徒歩5分

TEL（06）6260-0915

【受付時間】月～金　午前9：00～12：00　午後1：00～5：40

★名古屋：富士フイルムサービスステーション



地下鉄東山線伏見駅6番出口下車　徒歩5分

TEL（052）202-1851

【受付時間】月～金　午前9：00～12：00　午後1：00～5：40



富士写真フイルム株式会社



●本製品の関連情報は、下記のホームページをご覧ください。

http://www.fujifilm.co.jp/ または http://www.finepix.com/

●修理の受付は…

本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。

●本製品についての上記以外のお問い合わせは…

富士フイルム札幌営業所	〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館	TEL (011) 218-5575
富士フイルム仙台営業所	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL (022) 216-6960
富士フイルム東京販売部	〒106-8620 東京都港区西麻布2-26-30	TEL (03) 3406-2387
富士フイルム名古屋営業所	〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル	TEL (052) 203-5262
富士フイルム大阪支社	〒541-0051 大阪市中央区備後町3-5-11	TEL (06) 6205-6421
富士フイルム広島営業所	〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター	TEL (082) 250-0755
富士フイルム福岡営業所	〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1	TEL (092) 281-0255

●富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日 午前9：30～午後5：00）TEL (03) 3406-2982

この用紙は、再生紙を使用しています。

FGS-204101-FG